

令和元年7月改訂



浜松市戦略計画2019



浜松市総合計画の実行に向けて

総合計画の令和元年度の実施計画となる戦略計画 2019 を策定しました。

戦略計画は、浜松市未来ビジョン(基本構想)で定めた都市の将来像「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」及び「1 ダースの未来(理想の姿)」の実現を目指し、市の重点施策やその目標を掲げ、政策や事業とともに、行財政改革や資源配分などの考え方を含めた市政全般にわたる方向性を示し、毎年度の環境の変化を踏まえて策定する計画です。

戦略計画 2019 では、浜松市未来ビジョン第 1 次推進プラン(基本計画)で定めた 7 つの分野別計画を推進するための事業や資源配分を明確にし、計画の実効性を高めています。

本戦略計画を分かりやすく情報公開することで、市民の皆様に市政運営についてご理解いただきたいと考えています。

令和元年 5 月

— 目 次 —

| | |
|-------------|-----|
| I 戦略計画の位置付け | P1 |
| II 分野別計画 | P5 |
| 1 産業経済 | P7 |
| 2 子育て・教育 | P13 |
| 3 安全・安心・快適 | P19 |
| 4 環境・エネルギー | P29 |
| 5 健康・福祉 | P33 |
| 6 文化・生涯学習 | P37 |
| 7 地方自治・都市経営 | P39 |
| III 総合戦略 | P51 |
| IV 重点戦略 | P63 |

やらまいかスピリッツ! 創造都市・浜松

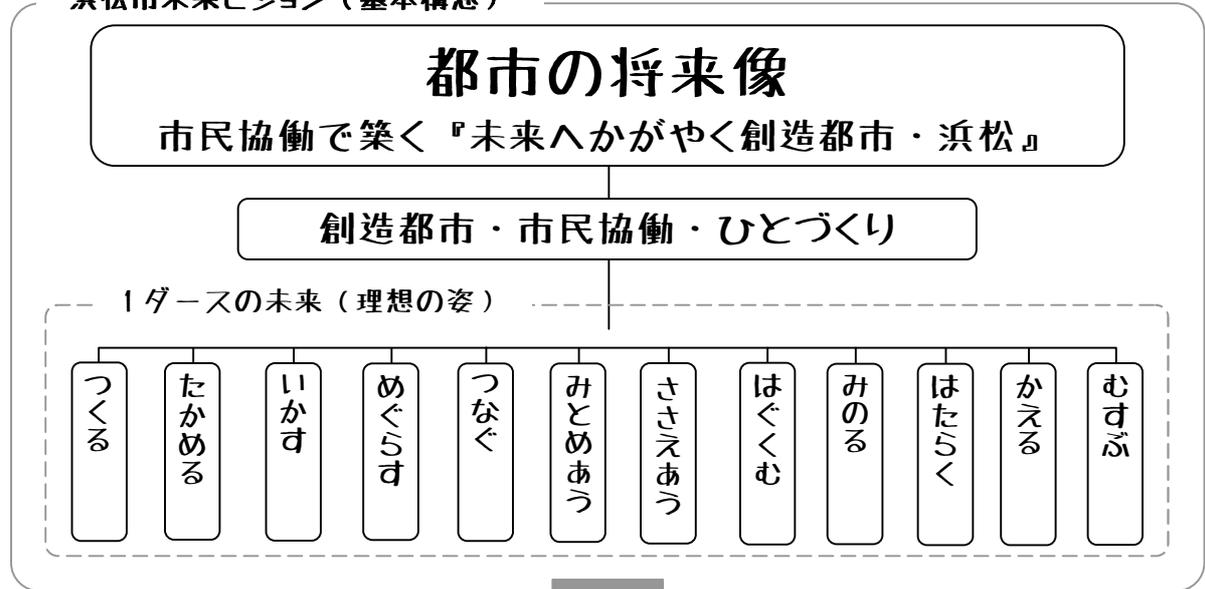
都市の将来像「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の周知に向け、親しみやすくロゴマーク化しました。各種配布物に活用してください。

I 戦略計画の位置付け

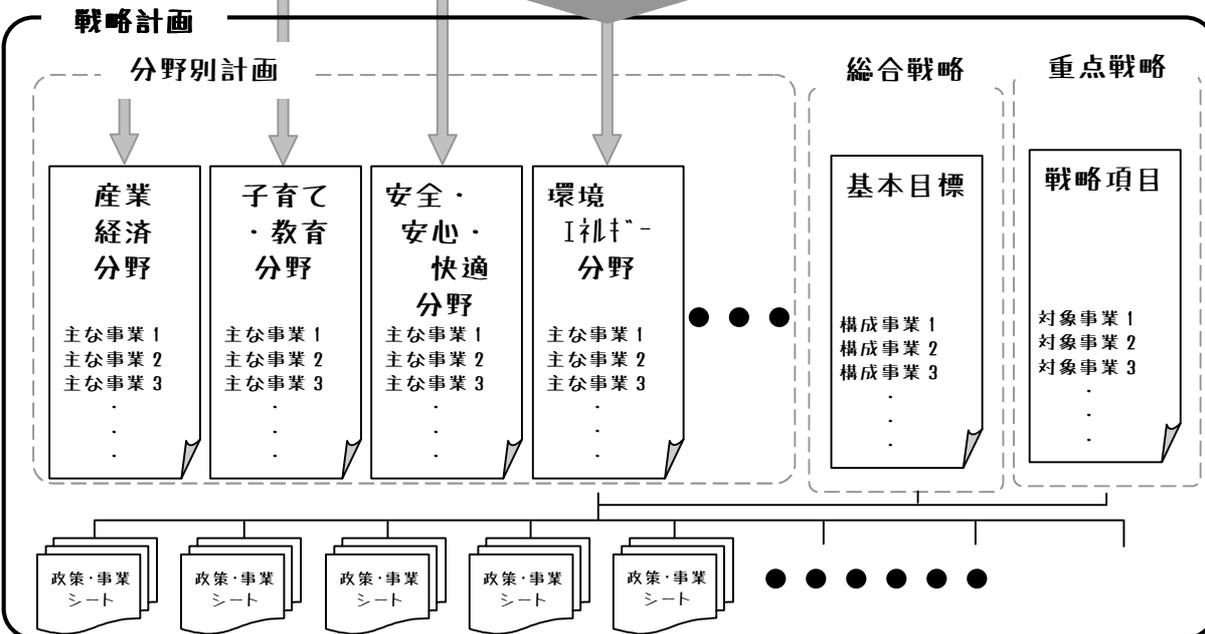
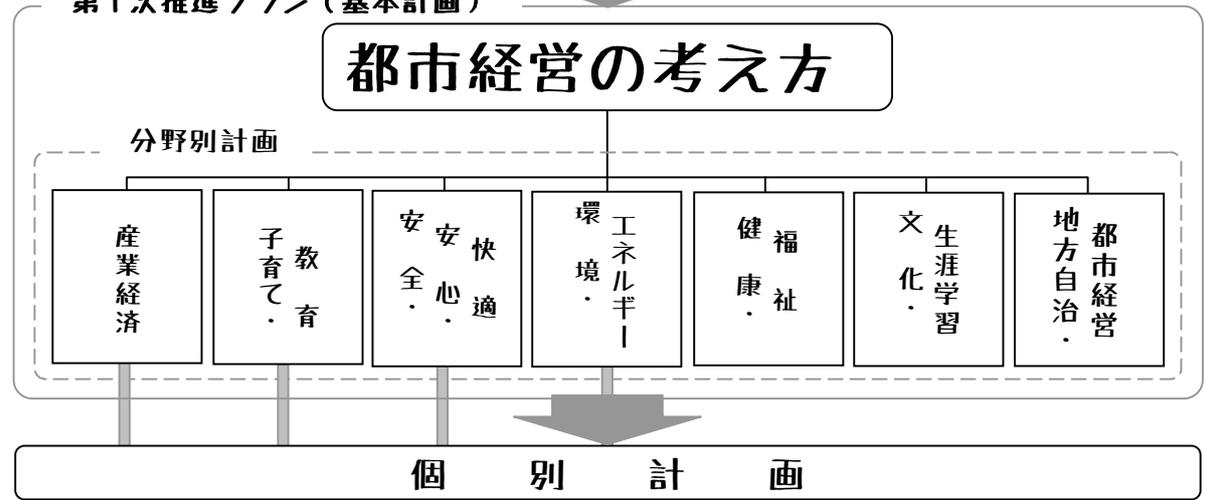


1 戦略計画の位置付け

浜松市未来ビジョン（基本構想）



第1次推進プラン（基本計画）

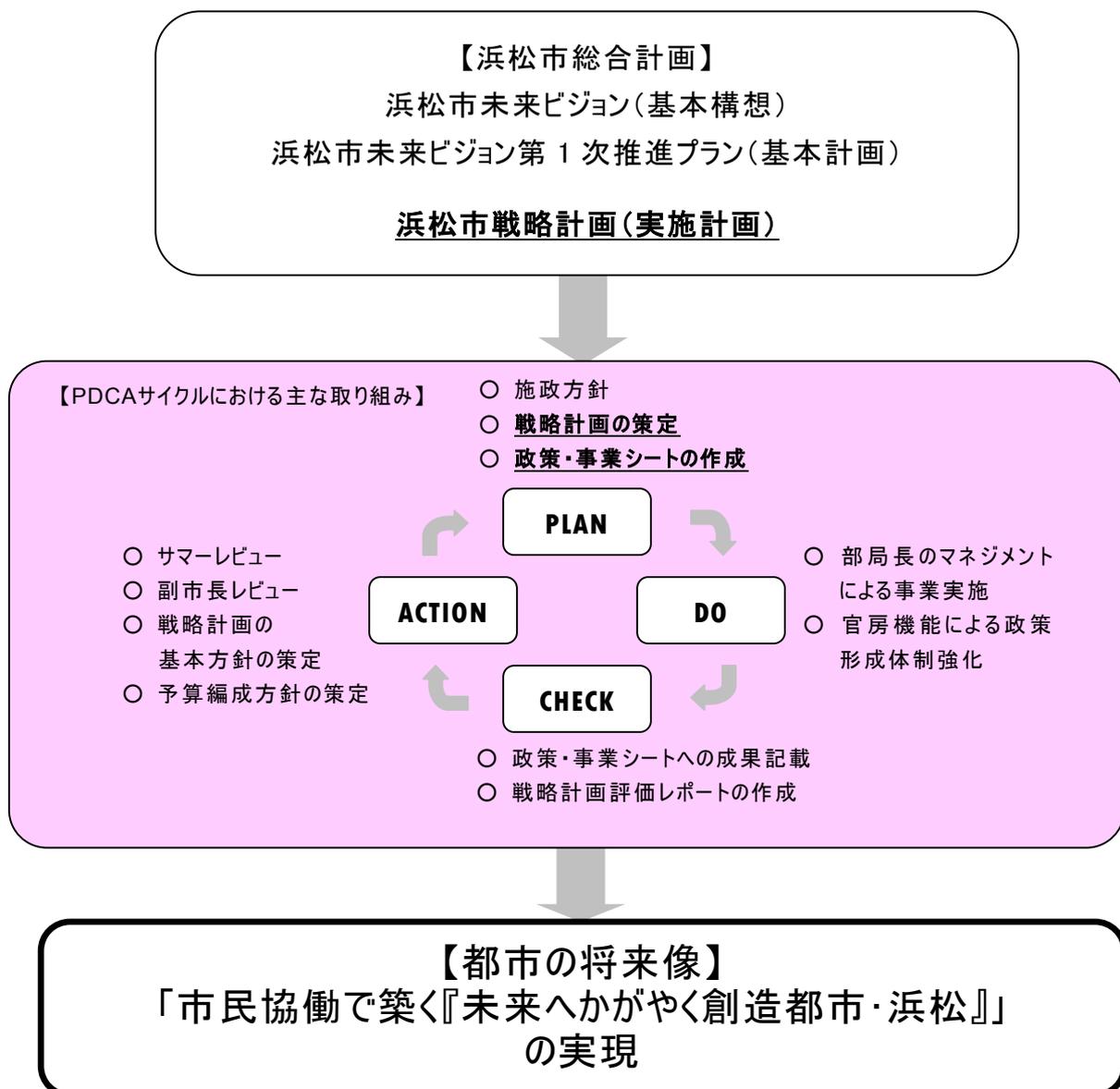


2 戦略計画を核とする経営の仕組み

浜松市総合計画は、浜松市未来ビジョン(基本構想)【計画期間 30 年:2015~2044 年度(平成 27~令和 26 年度)】、第 1 次推進プラン(基本計画)【計画期間 10 年:2015~2024 年度(平成 27~令和 6 年度)】、戦略計画(計画期間 1 年)の 3 層構造としており、戦略計画は、政策実現のために進める具体的な事業を示す実施計画として、毎年策定します。

戦略計画は、当該年度の重点的な取り組みを抽出した本書及び本市が取り組む 112 の政策、853 の事業を網羅した政策・事業シートで構成しています。

戦略計画を核とした PDCA サイクルによる経営の仕組みにより、①意思決定の仕組み、②資源配分の仕組み、③分かりやすい市政情報の提供を図ります。



3 戦略計画の基本方針

戦略計画 2019 の策定に向け、昨年 9 月に基本方針を公表しました。

本計画は、以下の基本方針に基づき策定しています。

～ 持続可能なまちづくりへの挑戦 ～

◆ 若者がチャレンジできるまち

魅力的な雇用の創出や働きやすい環境づくりに努め、若者を始めとした子育て世代の生活基盤を安定させ、若者世代の転入促進等による社会移動の均衡を目指します。

◆ 子育て世代を全力で応援するまち

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援とともに、次代を担う子どもたちへ浜松の素晴らしさを伝えること等により、子どもを生み育てたいと思えるまちを目指します。

◆ 持続可能で創造性あふれるまち

都市の魅力を高め、発信し、市内外の人を引き寄せるまちづくりを進め、持続可能な都市を目指します。

4 戦略計画 2019 の構成

(1) 分野別計画

第 1 次推進プラン(基本計画)を具体化し、部局や課の経営方針を明確にするため、7つの分野、19 の基本政策、112 の政策について、責任者や各部局の取り組み、主な事業を掲載し、資源配分として職員数や予算額を示しています。

(2) 総合戦略

「浜松市“やらまいか”総合戦略」【計画期間 5 年:2015～2019 年度(平成 27～令和元年度)】の基本目標達成に向けた 44 の施策について主な事業を掲載し、重要業績評価指標(KPI)や計画値、実績値と総合戦略最終年度の目標値を示しています。

(3) 重点戦略

市長が市民の皆様へ実行をお約束した「やりますリスト」219 項目について、重点戦略【計画期間 4 年:2019～2022 年度(令和元～4 年度)】として位置付け、対象事業を掲載し、指標項目や計画値と重点戦略最終年度の目標値を示しています。

(4) 政策・事業シート

市が取り組む 112 の政策、853 の事業について、前年度の政策・事業の成果と本年度に実施する政策・事業の概要、指標の目標値、予算・人員の配分を示しているもので、市ホームページにて公開しています。

Ⅱ 分野別計画



| | |
|-------------|--------|
| 1 産業経済 | (P.7) |
| 2 子育て・教育 | (P.13) |
| 3 安全・安心・快適 | (P.19) |
| 4 環境・エネルギー | (P.29) |
| 5 健康・福祉 | (P.33) |
| 6 文化・生涯学習 | (P.37) |
| 7 地方自治・都市経営 | (P.39) |

| | |
|---|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。 |
| 基本政策① | 世界の一步先を行く産業・サービスの創造 |
| 責任者 | 産業部長 渡瀬 充雄 産業部 観光・ブランド振興担当部長 石坂 守啓 |
| SDGsのゴール | ④教育 ⑤ジェンダー ⑧成長・雇用 ⑨イノベーション ⑩不平等 ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑭海洋資源 |
| 主な取り組み | |
| <ul style="list-style-type: none"> ♪ 新産業創出に向けた技術開発や事業化を支援します。 ♪ ベンチャーキャピタルがベンチャー企業に投資し易い環境の整備や、成長が期待されるベンチャー企業に実証実験の場を提供すること等により、ベンチャー企業の誘致・育成を推進します。 ♪ 近年加速する自動車産業の技術革新に対応するため、中小企業の固有技術を活かし、次世代に向けた自動車産業の活性化を目指す次世代自動車センター事業を支援します。 ♪ 海外ビジネスサポートデスクなどを活用した海外ビジネス展開を支援します。 ♪ 第三都田工場用地を中心として、新たなリーディング産業の誘致を推進します。 ♪ 産官学金の連携による創業・事業承継を支援します。 ♪ 公共空間の利活用など都心におけるにぎわい創出を促進します。 ♪ 浜名湖観光圏整備計画に基づく滞在型の観光地づくりを推進します。 ♪ 静岡デスティネーションキャンペーンや大河ドラマ「いだてん」など、大型イベントを活用した観光誘客を推進します。 ♪ 東南アジア地域やラグビーワールドカップ 2019 を活用した欧州及び豪州からの訪日外国人旅行者の誘客を推進します。 ♪ 「出世の街」や「ビーチ・マリンスポーツの聖地」など、本市の多彩な魅力を活用したシティプロモーションを推進します。 ♪ 「ふるさと納税」制度を通じた寄附金の獲得及び地場産品の流通を拡大します。 ♪ UIJ ターン就職、女性の就労や高齢者継続雇用の促進など、産業人財の確保と働きやすい労働・雇用環境の創出を目指します。 | |

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|---|------------------------------------|-----------------------------------|
| 新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現 ・中小企業金融支援事業【1】 ・中小企業活性化支援事業【3】 | 産業総務課 (芳田 一成) | 正 13.0 再 1.0 非 4.0 計 18.0 | 一 5,796 特 13,412 企 計 19,208 |
| 新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現 ・産業イノベーション推進事業【1・2・4・5・9】 ・首都圏ビジネス情報センター事業【10】 ・ベンチャー企業誘致事業 | 産業振興課 (村上 広幸) | 正 11.1 再 非 計 11.1 | 一 572 特 企 計 572 |
| 海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図るため中小企業の海外展開を促進 ・海外ビジネス展開支援事業【6】 | 産業振興課 (村上 広幸) | 正 2.8 再 非 計 2.8 | 一 36 特 企 計 36 |
| 企業誘致の推進による産業集積の促進 ・新・産業集積エリア整備事業【11】 | 企業立地推進課 (川合 比呂志) | 正 2.6 再 1.0 非 1.0 計 4.6 | 一 497 特 企 計 497 |
| 企業誘致の推進による産業集積の促進 ・企業立地推進事業【12・13】 | 企業立地推進課 (川合 比呂志) | 正 9.4 再 1.0 非 1.0 計 11.4 | 一 5,347 特 企 計 5,347 |
| 新規創業や新事業展開の促進 ・創業支援事業【7・8】 | 産業振興課 (村上 広幸) | 正 6.1 再 非 計 6.1 | 一 125 特 企 計 125 |
| 魅力ある都心づくりと商業振興 ・商店街振興対策事業 ・中心市街地活性化施策調査研究事業 ・都心機能集積支援事業【28・31】 ・まちなか回遊性推進事業 ・地域産業振興支援事業 | 産業振興課 商業振興担当 (佐藤 一郎) | 正 12.0 再 非 計 12.0 | 一 1,226 特 企 計 1,226 |
| 観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化 ・観光客誘致事業【33】 ・海外戦略推進事業【36・37】 ・MICE 推進事業【38】 ・浜松・浜名湖 DMO 形成支援事業【34】 ・観光宣伝事業【44】 ・ふるさと納税事業 | 観光・ シティプロモーション課 (鈴木 久仁厚) 海外戦略担当 (久米 秀幸) | 正 16.0 再 非 計 19.0 | 一 1,467 特 企 計 1,467 |
| 世界を含めた都市間競争を勝ち抜きシティプロモーションの展開 シティプロモーション事業【42・43・198】 ・魅力発信拠点施設管理運営事業 | 観光・ シティプロモーション課 (鈴木 久仁厚) | 正 4.0 再 2.0 非 計 6.0 | 一 116 特 企 計 116 |
| だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備 ・雇用促進事業【14・15・16・19・121】 | 産業総務課 雇用・労政担当 (清野 訓子) | 正 7.0 再 非 計 9.0 | 一 254 特 企 計 254 |

| | | | | | |
|---|-----|---|-------|---|--------|
| 計 | 4 課 | 正 | 84.0 | 一 | 15,436 |
| | | 再 | 3.0 | 特 | 13,412 |
| | | 非 | 13.0 | 企 | |
| | | 計 | 100.0 | 計 | 28,848 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策② 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業**責任者** 産業部 農林水産担当部長 山下 文彦**SDGsのゴール** ②飢餓 ④教育 ⑥水・衛生 ⑧成長・雇用 ⑨イノベーション ⑩不平等
⑪都市 ⑫生産・消費 ⑬気候変動 ⑭海洋資源 ⑮陸上資源**主な取り組み**

- ♪ 「浜松市農業振興ビジョン」に基づき、農業経営者の育成や先端技術の活用などにより、チャレンジ・工夫で「もうかる農業」を実現します。
- ♪ FSC 森林認証制度に基づく持続可能な森林管理と大都市・大企業などとの官民連携による天竜材・天竜材製品の流通・販路拡大に取り組み、林業成長産業化を推進します。
- ♪ 舞阪漁港・村櫛漁港の整備や、水産資源の保護、育成に努め、持続可能な水産業を目指します。
- ♪ 卸売市場法改正の趣旨に則り、市場の活性化に取り組み、市民の食生活の安定を確保します。
- ♪ 浜松・浜名湖地域の旬の食材を「浜松パワーフード」として売り出します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成31年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|---|------------------------------------|---------------------------------|
| 農業参入機会の創出による担い手の確保 ・もうかる農業推進事業【17・50】 | 農業水産課 (北嶋 秀明) | 正 1.2 再 非 0.3 計 1.5 | 一 特 企 計 8 8 |
| 農業参入機会の創出による担い手の確保 ・生産・経営基盤強化事業 ・担い手育成支援事業【47】 | 農業振興課 (豊田 周一) | 正 9.6 再 0.7 非 1.7 計 12.0 | 一 特 企 計 150 150 |
| ICTを活用した魅力あふれる農業への変革 ・もうかる農業推進事業 | 農業水産課 (北嶋 秀明) | 正 0.7 再 非 計 0.7 | 一 特 企 計 6 6 |
| 生産基盤の安定による農業振興 ・もうかる農業推進事業【46】 | 農業水産課 (北嶋 秀明) | 正 8.3 再 0.1 非 0.7 計 9.1 | 一 特 企 計 214 214 |
| 生産基盤の安定による農業振興 ・農産物生産振興事業 ・中山間・山間地域振興事業 | 農業振興課 (豊田 周一) | 正 12.8 再 2.9 非 1.0 計 16.7 | 一 特 企 計 474 474 |
| 生産基盤の安定による農業振興 ・国・県施行事業【48】 ・農業農村整備支援事業 ・かんがい排水整備事業 ・農道整備事業 ・農業基盤整備国庫補助事業 | 農地整備課 (前田 英和) 国営事業 推進担当 (加茂 秀訓) | 正 20.0 再 4.0 非 4.0 計 28.0 | 一 特 企 計 2,102 2,102 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|---------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 生産基盤の安定による農業振興 ・農地の確保と有効利用事業【49】 | 農地利用課 (清水 克) | 正 12.2 再 2.0 非 2.0 計 16.2 | 一 35 特 企 計 35 |
| 産業と市民活動による担い手の確保 ・もうかる農業推進事業【39・45・109】 | 農業水産課 (北嶋 秀明) | 正 1.9 再 0.9 非 計 2.8 | 一 12 特 企 計 12 |
| 産業と市民活動による担い手の確保 ・市民に親しまれる農業推進事業 | 農業振興課 (豊田 周一) | 正 0.3 再 0.4 非 0.3 計 1.0 | 一 2 特 企 計 2 |
| 適切な伐採と流通の活性化 ・低コスト林業推進事業 ・木材需要拡大事業【51・54】 ・林業従事者助成事業(補助金) ・林業成長産業化推進事業 | 林業振興課 (袴田 雄三) | 正 8.0 再 0.7 非 計 8.7 | 一 1,331 特 企 計 1,331 |
| 森林管理を通じた環境対応社会への貢献 ・森林管理事業【52・164】 ・森林経営管理推進事業【53】 | 林業振興課 (袴田 雄三) | 正 10.1 再 3.3 非 計 13.4 | 一 126 特 企 計 126 |
| 適切な資源管理による水産業の振興 ・水産業振興事業【56】 | 農業水産課 (北嶋 秀明) | 正 0.3 再 0.1 非 計 0.4 | 一 5 特 企 計 5 |
| 漁港などの基盤整備による水産業の振興 ・漁港管理事業【55】 | 農業水産課 (北嶋 秀明) | 正 1.2 再 非 計 1.2 | 一 94 特 企 計 94 |
| 地元水産物の消費の活性化 ・水産業振興事業【57】 | 農業水産課 (北嶋 秀明) | 正 0.5 再 0.9 非 計 1.4 | 一 2 特 企 計 2 |
| 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定 ・中央卸売市場事業 | 中央卸売市場 (名倉 勝) | 正 7.0 再 4.0 非 4.0 計 15.0 | 一 761 特 企 計 761 |
| 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定 ・と畜場・市場事業 | 食肉地方卸売市場 (牧野 良則) | 正 5.0 再 2.0 非 計 7.0 | 一 346 特 企 計 346 |
| 計 | 7 課 | 正 99.0 再 22.0 非 14.0 計 135.0 | 一 4,561 特 1,107 企 計 5,668 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策③

-

責任者

農業委員会事務局長 清水 克

SDGs のゴール

②飢餓

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--------------------------------------|------------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 優良農地の確保と農業生産力の向上 ・優良農地の確保推進事業【49】 | 農業委員会 事務局 (清水 克) | 正 20.0 再 3.0 非 計 23.0 | 一 特 企 計 24 24 |
| 計 | 1 課 | 正 20.0 再 3.0 非 計 23.0 | 一 特 企 計 24 24 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目№を示す。



| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 ◆ すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。 |
| 基本政策① | 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり |
| 責任者 | こども家庭部長 金原 栄行 |
| SDGsのゴール | ①貧困 ③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑩不平等 ⑫生産・消費 ⑯平和 |
| 主な取り組み | <ul style="list-style-type: none">♪ 待機児童を解消するため、認定こども園や保育所の創設、増改築を推進します。♪ 結婚や出産を望む男女が希望をかなえられるよう結婚等の支援に取り組むことで、若い世代が結婚や妊娠に対して前向きに考えることができる気運を醸成します。♪ ニーズ調査の結果をもとに、次期子ども・若者支援プランを策定します。♪ 子育て家庭の経済的支援の充実を図るため、新たに高校生世代への医療費助成事業を行います。♪ 生活に困難を抱える家庭の児童に対し、貧困の連鎖を断ち切ることを目指し、学習や進学に対する意欲を高めるための学習支援事業を拡充します。♪ 地域子育て支援拠点事業や産後ケア事業の拡充をすることで、継続して妊娠期から子育て支援期にわたる切れ目ない支援を行い、子育て家庭に対するきめ細やかな支援を実施します。♪ 児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応を強化するため、児童相談所と一時保護所による総合的な支援を充実します。♪ 社会的養護が必要な児童が、家庭的な養育環境のもとで育てられるよう新規里親の確保及び里親の支援を充実します。♪ ニートやひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者を支援するため、これらの若者を対象とした相談体制の充実や支援機関相互の連携強化を図ります。♪ 国制度に基づく幼児教育・保育の無償化を実施し、利用者負担の軽減を図ります。 |

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|---------------------|------------------------------------|--|
| 妊娠・出産を応援するための環境づくり ・地域少子化対策強化事業 | 次世代育成課 (小田切 峰二) | 正 0.8 再 非 計 0.8 | 一 特 企 計 209 |
| 妊娠・出産を応援するための環境づくり ・私立保育所等助成事業【58・69】 | 幼児教育・保育課 (山本 卓司) | 正 0.7 再 非 計 0.7 | 一 特 企 計 904 |
| 子どもが健やかに育つ環境づくり | 次世代育成課 (小田切 峰二) | 正 5.2 再 2.7 非 1.7 計 9.6 | 一 特 企 計 2 |
| 子どもが健やかに育つ環境づくり ・子育て家庭支援事業【65・73】 ・発達相談支援事業 ・子育てワンストップサービス運用事業 ・家庭福祉支援事業【95】 ・交通遺児等基金積立金 | 子育て支援課 (鈴木 和彦) | 正 13.9 再 1 非 3 計 17.9 | 一 特 企 計 16,655 |
| 幼児教育・保育施策の推進と施設の管理運営 ・市立保育所管理運営事業【61・93】 ・私立保育所等助成事業【94】 ・保育事業運営経費【60】 ・市立幼稚園教職員管理事業【93】 ・市立幼稚園教育指導支援員配置事業【81】 ・市立幼稚園施設整備事業【61】 ・私立幼稚園助成事業【94】 ・私立幼稚園就園奨励等助成事業【94】 | 幼児教育・保育課 (山本 卓司) | 正 597.3 再 15 非 90 計 702.3 | 一 特 企 計 21,005 |
| 子どもとその家庭に対する相談援助 ・こども保護対策事業 ・社会的養護推進事業 ・ひとり親家庭等支援事業【72】 ・女性相談保護事業 | 子育て支援課 (鈴木 和彦) | 正 9.1 再 0 非 1 計 10.1 | 一 特 企 計 3,378 206 3,584 |
| 子どもとその家庭に対する相談援助 ・児童保護事業【62】 ・社会的養護推進事業【63】 ・一時保護所運営事業 | 児童相談所 (鈴木 勝) | 正 61 再 非 計 12 73 | 一 特 企 計 1,450 1,450 |
| 若者の自立を促す環境づくりの推進 ・子ども・若者支援プラン推進事業 ・青少年健全育成事業 ・青少年支援体験活動事業 ・子ども・若者サポート事業【64】 | 次世代育成課 (小田切 峰二) | 正 7.0 再 0.3 非 3.3 計 10.6 | 一 特 企 計 98 98 |
| 計 | 4 課 | 正 695 再 19 非 111 計 825 | 一 特 企 計 43,701 206 43,907 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策② 市民協働による未来創造へのひとづくり

責任者 学校教育部長 伊熊 規行

SDGs のゴール ①貧困 ③保健 ④教育 ⑧成長・雇用

主な取り組み

- ♪ 第3次浜松市教育総合計画「はままつ人づくり未来プラン」に基づき、キャリア教育に重点を置いた教育活動を推進するとともに、取組成果や課題を評価し、後期計画を策定します。
- ♪ 子どもたちの情報活用能力を育成するため、学校における ICT 環境の整備を進めます。
- ♪ 学校・家庭・地域が連携・協働して学校運営を進める「コミュニティ・スクール」の本格導入に向けて、推進モデル校を 24 校に増やし、試行・検証を進めるとともに、制度の周知啓発を図ります。
- ♪ 教職員の多忙化解消に向けて、学校事務センター業務のさらなる運用改善を図るとともに、校務アシスタントの全校配置や学校管理運営システムを活用した出退勤管理など、学校における働き方改革に取り組みます。
- ♪ 令和2年度からの新学習指導要領全面実施をふまえ、小学校における外国語科・外国語活動の円滑な授業実施に向けて、ALT(外国語指導助手)の増員配置を進めます。
- ♪ 心身に障がいがあるなど支援が必要な児童生徒が在籍する小中学校に指導員等を増員配置し、発達支援教育の充実を図ります。
- ♪ 不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、校内・校外適応指導教室を拡充するとともに、従来の適応指導教室では受け入れることが困難であった発達障がいのある児童生徒に対応する個別支援型適応指導教室を併設します。
- ♪ 外国人児童生徒への日本語基礎指導や学習支援の充実を図るとともに、小学校入学予定児童とその保護者に対し、初期適応指導のためのプレスクールを開催します。
- ♪ 小中学校における起業家教育や郷土愛を醸成する活動を支援し、子どもたちが「浜松の良さ」「浜松の強み」を学ぶ機会を増やし、本市を支え、活躍する人材を育てます。
- ♪ 放課後児童会の待機児童を解消するため、実施箇所の拡大により定員の増を図るとともに、運営方式の統一に向けて、補助方式の4児童会をモデル的に委託方式に変更し、効果や課題を検証します。
- ♪ 良好な教育環境を確保するため、小中学校の普通教室へエアコンを整備します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|-------------------------------------|------------------|--------------------------|---------------------------|
| 夢と希望を持ち続ける子どもの育成 ・教育総合計画推進事業【88】 | 教育総務課 (吉積 慶太) | 正 4.6 再 非 計 4.6 | 一 特 企 計 2 2 |
| 夢と希望を持ち続ける子どもの育成 ・学校特色化推進事業 | 指導課 (野秋 愛美) | 正 0.5 再 非 計 0.5 | 一 特 企 計 83 83 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|-------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 ・学校情報技術環境整備事業【78】 | 教育施設課 (袴田 和徳) | 正 1.9 再 非 計 1.9 | 一 2,064 特 企 計 2,064 |
| これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 ・生きた英語力育成事業【80】 ・理科支援員配置事業【89】 ・部活動等推進事業【88】 ・やらまいか教育推進事業【75】 | 指導課 (野秋 愛美) | 正 2.7 再 非 計 2.7 | 一 307 特 企 計 307 |
| これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 ・小学校給食事業、中学校給食事業 ・学校安全事業【86・160】 ・健康安全運営経費【90】 | 健康安全課 (花嶋 徳光) | 正 19.0 再 1.0 非 9.0 計 29.0 | 一 2,718 特 6 企 計 2,724 |
| 自分らしさを大切に育てる子どもの育成 ・市立高校教育事業 ・市立高校管理運営経費 ・学校施設整備事業 | 市立高等学校 (柳本佳奈子) | 正 74.0 再 3.0 非 6.0 計 83.0 | 一 165 特 企 計 165 |
| 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践 ・発達支援教育指導員等配置事業(小学校費・中学校費)【81】 | 教職員課 (山下 浩) | 正 0.3 再 非 計 0.5 | 一 166 特 企 計 166 |
| 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践 ・発達支援教育推進事業【81】 ・生徒指導推進事業【67・68】 ・外国人子ども教育支援推進事業【83】 ・不登校児支援推進事業【82】 ・教育相談推進事業【66・68】 | 指導課 (野秋 愛美) | 正 13.7 再 非 計 28.7 | 一 401 特 企 計 401 |
| 園・学校や教師の力の向上 ・教育研究・指導事業【77】 | 指導課 (野秋 愛美) | 正 16.9 再 非 計 17.9 | 一 23 特 企 計 23 |
| 園・学校や教師の力の向上 ・教職員研修事業【91】 | 教育センター (犬塚 智春) | 正 12.0 再 1.0 非 7.0 計 20.0 | 一 37 特 企 計 37 |
| 家庭や地域の力を活かした取り組みの推進 ・コミュニティ・スクール推進事業【74】 ・はままつづくりネットワーク推進事業 ・放課後児童会健全育成事業【59・70】 | 教育総務課 (吉積 慶太) | 正 9.2 再 非 計 12.2 | 一 870 特 企 計 870 |
| 家庭や地域の力を活かした取り組みの推進 ・PTA指導者等研修事業 | 指導課 (野秋 愛美) | 正 0.2 再 非 計 0.2 | 一 1 特 企 計 1 |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・学校規模適正化推進事業 ・通園・通学バス運行事業 ・就学援助事業(小学校費・中学校費) | 教育総務課 (吉積 慶太) | 正 17.2 再 4.0 非 5.0 計 26.2 | 一 857 特 90 企 計 947 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|------------------|--|-----------------------------------|
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・小学校建設事業【84】 ・中学校建設事業【84】 ・学校施設整備事業【85】 | 教育施設課 (袴田 和徳) | 正 19.1 再 1.0 非 6.0 計 26.1 | 一 5,056 特 企 計 5,056 |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・教職員管理事業(小学校費・中学校費)【88・92】 ・学校教育指導支援員配置事業(小学校費・中学校費)【89】 | 教職員課 (山下 浩) | 正 29.7 再 4.8 非 34.5 計 | 一 820 特 企 計 820 |
| 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・かわな野外活動センター管理運営事業 | 指導課 (野秋 愛美) | 正 3.0 再 非 計 3.0 | 一 183 特 企 計 183 |
| 計 | 7 課 | 正 224.0 再 10.0 非 57.0 計 291.0 | 一 13,753 特 96 企 計 13,849 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。



全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆ どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策① みんなの力で自然災害から生き残る

責任者 危機管理監 宮城 和敬

SDGs のゴール ①貧困 ⑪都市 ⑬気候変動

主な取り組み

- ♪ 県と連携して防潮堤整備を進めるとともに、避難施設や避難方法を住民と一緒に考え、民間企業や関連機関と連携した防災訓練を行うことにより、地域コミュニティの共助による防災・減災力の強化に取り組むなど、津波防災地域づくり推進計画を推進します。
- ♪ 地域の特性や災害事象などを考慮し、市民一人ひとりが、確実に防災情報を入手することができる多様な手段の確保について取り組みます。
- ♪ 大規模災害発生時に避難者の生活拠点となる避難所のトイレ環境改善のため、マンホールトイレの整備を進めます。
- ♪ 防災学習センターを活用し、家具の固定や飲料水や食料の備蓄など、市民への防災意識の啓発を行います。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|------------------|----------------------------|------------------------------|
| みんなの力で自然災害から生き残る ・防災計画等整備事業【158】 ・市民防災意識啓発事業 ・防災施設・資機材管理事業【159・172】 ・防災学習施設管理運営事業【160】 | 危機管理課 (石田 義和) | 正 24 再 2 非 4 計 30 | 一 3,218 特 企 計 3,218 |
| 計 | 1 課 | 正 24 再 2 非 4 計 30 | 一 3,218 特 企 計 3,218 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策② 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

責任者 市民部長 山下 昭一

SDGs のゴール ④教育 ⑤ジェンダー ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑯平和

主な取り組み

- ♪ 空家等対策計画に基づき、管理不適切な空家に対し、厳正な改善指導等を行うとともに、啓発活動などを通じて、空家の発生の予防を図ります。
- ♪ 将来の火葬体数の増加に対応するため、浜松市斎場再編・整備方針に基づき、斎場施設の整備を進めます。
- ♪ 通行の支障となる客引き行為等に対応するため、禁止区域の指定や罰則等を規定した条例の制定を進めます。
- ♪ 浜松市消費者教育推進計画に基づき、学校・地域・職域等において消費者教育を推進するとともに、相談窓口機能の充実や消費に関する出前講座等の開催、フェアトレードを含むエシカル消費の啓発に持続的に取り組みます。
- ♪ 市民生活に不可欠な戸籍、住民基本台帳、印鑑登録などの各種届出受付及び証明書発行や旅券交付などの正確かつ迅速な処理のため、窓口体制の整備・充実を進め、市民サービスの向上を図ります。
- ♪ 犯罪のない安全で安心なまちづくりを進めるため、基本計画を見直します。
- ♪ 地域における自主的防犯活動団体である「地区安全会議」の設立を進めるとともに、有楽街に開設した“まちなか防犯センター”の運営を支援します。
- ♪ 墓園・墓地の植栽等の美観維持に努め、快く墓参できる環境を提供します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|-------------------|-----------------------------------|----------------------|
| 地域防犯の向上 ・安全で安心なまちづくり支援事業 ・中心市街地防犯センター支援事業 ・防犯協会運営事業(負担金) | 市民生活課 (松野 吉司人) | 正 1.1 再 非 計 1.1 | 一 特 企 計 38 |
| 市民安全の確保 ・市民安全対策事業 (客引き行為等対策事業【32】) ・空家対策事業 ・市民相談、弁護士法律相談事業 ・基地周辺整備事業 ・市民生活運営経費 | 市民生活課 (松野 吉司人) | 正 5.6 再 2.0 非 8.5 計 16.1 | 一 特 企 計 124 |
| 安全・安心な消費生活の推進、消費者教育の推進 ・消費生活推進事業 (フェアトレード・エシカル推進事業【137】) | 市民生活課 (松野 吉司人) | 正 2.9 再 1.0 非 7.5 計 11.4 | 一 特 企 計 15 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|-------------------|-------------------------------------|------------------------|
| 戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等窓口事務の適切な執行 | 市民生活課 (松野 吉司人) | 正 4.2 | 一 特 企 計 652 |
| ・戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等事業 (マイナンバーカードの普及促進【215】) | | 非 1.0 | |
| | | 計 5.2 | |
| 斎場・墓園・墓地の整備推進 | 市民生活課 (松野 吉司人) | 正 5.7 | 一 特 企 計 897 |
| ・斎場再編・整備事業 | | 非 | |
| | | 計 5.7 | |
| 計 | 1 課 | 正 19.5 再 3.0 非 17.0 計 39.5 | 一 特 企 計 1,726 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

| | |
|--------------|----------------|
| 基本政策③ | 市民が集う活力ある都市づくり |
|--------------|----------------|

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 責任者 | 都市整備部長 大村 兼資 都市整備部 花みどり担当部長 伊藤 哲 |
|------------|-------------------------------------|

| | |
|-----------------------|--|
| SDGs の ゴール | ②飢餓 ③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑥水・衛生 ⑦エネルギー ⑧成長・雇用 ⑨イノベーション ⑩都市 ⑪生産・消費 ⑫気候変動 ⑬海洋資源 ⑭陸上資源 ⑮実施手段 |
|-----------------------|--|

主な取り組み

- ♪ 拠点ネットワーク型都市構造の実現に向けて、社会経済情勢の変化による都市課題に対応した、新たな都市計画マスタープランの策定を進めます。
- ♪ 交通結節機能の強化により都市内交通の利便性を向上させるとともに、公共交通ネットワークの維持改善を図ります。
- ♪ 都心の定住・交流人口の増加に向けて、市街地再開発事業を促進します。
- ♪ 建物のリノベーションや低・未利用地を活用することで、新たな産業の起業・集積を促進し、都心部での雇用を創出するとともに、文化創造の拠点を形成します。
- ♪ 開園50周年に向けて、「花の聖地」としてトップブランドを目指すことで、フラワーパークの魅力を高め、入園者数を増加させます。
- ♪ 浜松城公園は、歴史ゾーンにおいて歴史的な価値の向上に向けて取り組むと共に、鹿谷地区の拡充等を進め、公園の魅力アップを図ります。
- ♪ 遠州灘海浜公園への県立野球場の実現に向けて、静岡県と継続して協議を進めます。
- ♪ ビーチスポーツの拠点として、遠州灘海浜公園江之島地区にビーチスポーツコートの整備を進めます。
- ♪ 動物たちのいのちのすばらしさ、大切さを楽しく学べる、市内唯一の教育施設として、動物園再生基本計画に基づきいのちのふれあいゾーンの整備を進め、いのちの教育事業の充実を図ります。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成31年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|--|------------------------------------|-----------------------------------|
| 集約都市づくりの推進 ・都市計画調整事業 ・都市計画策定事業【149】 | 都市計画課 (井熊 久人) 北部都市整備 事務所 (濱田 輝秀) | 正 21.8 再 0.1 非 1.9 計 23.8 | 一 23 特 企 計 23 |
| 開発と保全が調和する土地利用の推進 ・土地利用適正化事業【144】 ・まちづくり推進事業 ・景観形成・保全事業 | 土地政策課 (山田 雅之) 北部都市整備 事務所 (濱田 輝秀) | 正 31.9 再 0.9 非 3.1 計 35.9 | 一 31 特 企 計 31 |
| はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して ・交通計画推進事業【153】 ・公共交通推進事業【152・195】 | 交通政策課 (鈴木 浩治) 北部都市整備 事務所 (濱田 輝秀) | 正 12.9 再 1.0 非 計 13.9 | 一 459 特 企 計 542 1,001 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|---|--|--------------------------------------|
| 安全・安心な市街地の形成 ・上島駅周辺公共団地区画整理事業 ・高竜地区公共団地区画整理事業 ・高塚駅北公共団地区画整理事業 ・組合等区画整理支援事業 | 市街地整備課 (鈴木 祥司) 北部都市整備 事務所 (濱田 輝秀) | 正 23.4 再 1.0 非 1.0 計 25.4 | 一 206 特 206 企 206 計 206 |
| 都心の都市機能の強化 ・市街地再開発組合支援事業【29】 ・都市機能更新促進事業【30・32】 | 市街地整備課 (鈴木 祥司) | 正 7.8 再 非 計 7.8 | 一 2,874 特 企 計 2,874 |
| 安全・安心な居住環境への誘導 ・良質な建築物建設促進事業 ・狭い道路拡幅整備事業 ・地震対策推進事業【166】 | 建築行政課 (瀧口 克也) 北部都市整備 事務所 (濱田 輝秀) | 正 34.0 再 2.0 非 4.0 計 40.0 | 一 299 特 299 企 計 299 |
| 市営住宅の既存ストックの活用 ・市営住宅管理事業 ・市営住宅ストック総合改善事業 ・市営住宅建設事業 ・住まいづくり推進事業 ・高齢者向け優良賃貸住宅助成事業(補助金) ・災害対策事業 | 住宅課 (小木 克郎) | 正 20.0 再 2.0 非 8.0 計 30.0 | 一 1,807 特 1,807 企 計 1,807 |
| 緑化推進・緑地保全 ・館山寺総合公園運営事業【167】 ・浜松城公園長期整備構想推進事業【169】 | 緑政課 (松島 康浩) | 正 19.0 再 3.0 非 3.0 計 22.0 | 一 889 特 117 企 1,006 計 1,006 |
| 都市公園・緑地の整備 ・公園整備事業【143・169・196・202】 | 公園課 (奥井 智之) | 正 13.0 再 1.0 非 1.0 計 15.0 | 一 624 特 105 企 729 計 729 |
| 都市公園・緑地の維持管理 ・公園施設改良事業【143】 ・ビーチスポーツ施設整備事業【196】 | 公園管理事務所 (石津谷 好夫) | 正 10 再 1 非 2 計 13 | 一 1,319 特 1,319 企 計 1,319 |
| 動物園の再生 ・動物園施設維持管理事業 ・動物愛護教育センター事業 ・施設整備事業【168】 | 動物園 (岩淵 肇) | 正 34.2 再 2.0 非 5.2 計 41.4 | 一 695 特 695 企 計 695 |
| 計 | 11 課 | 正 228.0 再 11.0 非 29.2 計 267.2 | 一 9,226 特 647 企 117 計 9,990 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策④ 安全な生活基盤づくり**責任者** 土木部長 柴山 智和**SDGs のゴール** ⑨イノベーション ⑪都市 ⑬気候変動**主な取り組み**

- ♪ 三遠南信自動車道やスマートインターチェンジの整備推進により、新たな広域交通の拠点を形成するとともに、高速道路と一般道路及び各拠点間のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業の生産性向上、観光交流の促進を目指します。
- ♪ 道路・河川等社会インフラの計画的維持修繕及び防災強化を図るため、長寿命化計画の推進及び耐震化を進めます。
- ♪ 第10次浜松市交通安全計画(平成28～令和2年度)に掲げる交通事故削減目標を達成するため、市民一人一人の交通安全意識の高揚を図るとともに、道路交通環境の改善を推進します。
- ♪ 国道473号(仮称)新々原田橋について、令和元年度末の供用開始に向けて整備を推進します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成31年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 効率的な道路・河川管理 ・道路管理事業 ・道路維持修繕事業【148、155】 ・道路防災事業【148、162】 ・橋りょう耐震補強事業【161】 ・自転車等対策事業 ・地籍調査事業 ・河川管理事業 | 道路保全課 (池谷 一弘) | 正 32.0 再 3.0 非 4.0 計 39.0 | 一 10,990 特 企 計 10,990 |
| 効率的な道路・河川管理 ・河川管理対策事業【156】 ・河川維持修繕事業【148】 | 河川課 (白柳 裕一) | 正 4.5 再 非 0.3 計 4.8 | 一 1,176 特 企 計 1,176 |
| 快適な道路・川づくり ・道路関係調査事業 ・市道整備事業【148、150、151】 ・国県道整備事業【148、150、151】 ・スマートインターチェンジ関連整備事業【150】 ・三遠南信自動車道関連整備事業【147】 ・国直轄道路事業(負担金) ・都市計画道路整備事業【150】 ・天竜川駅周辺整備事業 | 道路企画課 (菅谷 昌彦) | 正 18.0 再 非 2.0 計 20.0 | 一 6,929 特 企 計 6,929 |
| 快適な道路・川づくり ・河川改良事業【148・163】 ・浸水対策支援事業 ・港湾整備事業 ・都市下水路整備事業 | 河川課 (白柳 裕一) | 正 5.0 再 非 0.5 計 5.5 | 一 949 特 企 計 949 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | | R1 予算 (百万円) | |
|---|------------------|------------------|--------------------------|------------------|--------------------------|
| 防災体制の強化 ・急傾斜対策事業 ・水防活動事業 ・土木施設災害復旧事業 | 河川課 (白柳 裕一) | 正 再 非 計 | 3.5 1.0 0.2 4.7 | 一 特 企 計 | 1,492 1,492 |
| 交通安全対策 ・交通安全施設等整備・修繕事業【35・87・148・195】 ・道路照明灯 LED 化更新事業【143】 ・交通安全推進事業【157】 | 道路企画課 (山本 正孝) | 正 再 非 計 | 7.0 1.0 8.0 | 一 特 企 計 | 3,397 3,397 |
| 上記事業の整備事務所分 | 土木整備事務所 (★) | 正 再 非 計 | 171 27 24 222 | 一 特 企 計 | |
| 計 | 7 課 | 正 再 非 計 | 241 31 32 304 | 一 特 企 計 | 24,933 24,933 |

★南土木整備事務所(永井 聖孝)、北土木整備事務所(加藤 隆康)、東・浜北土木整備事務所(杉石 秀和)、天竜土木整備事務所(小出 弘章)

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策⑤ いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

責任者 消防長 鶴飼 孝

SDGs のゴール ①貧困 ⑪都市 ⑬気候変動

主な取り組み

- ♪ ユニットハウス型移動式訓練施設を整備し、職員の災害対応能力の向上を図ります。
- ♪ 西消防署庄内出張所の整備に着手し、防災拠点としての機能の強化を図ります。
- ♪ 消防団活動の安定的な運営を図るため、消防団員の準中型自動車運転免許の取得に対する支援制度を創設し、機関員を担う消防団員の確保に努めます。
- ♪ 火災による被害の軽減を図るため、違反対象物の早期是正及び積極的な火災予防広報活動に取り組みます。
- ♪ ドローンの運用等による災害時の情報収集能力向上を図ります。
- ♪ 市内全域の災害に迅速対応するため、消防ヘリコプター「はまかぜ」の操縦士の確保、養成及び安全かつ効果的な活用に努めます。
- ♪ 消防救急体制の充実を図るため、消防・救急自動車の更新及び救急救命士等の資格者の育成を行います。
- ♪ 救命効果を高めるため、市民に対し応急手当の普及に努めます。
- ♪ 災害通報の受付から無線通信まで、消防指令センターの適正な機能維持と効率的な運用を図るとともに、高所監視施設の更新・設置による機能強化を行います。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|
| 消防施設の最適化、人材育成の充実 | 消防総務課 (上條 美昭) | 正 14.0 | 一 331 |
| ・消防総務管理事業 ・消防庁舎運営事業 | | 再 2.0 非 4.0 計 20.0 | 特 企 計 331 |
| 消防団の防災体制の充実 | 消防総務課 (上條 美昭) | 正 5.0 | 一 467 |
| ・消防団活動事業 ・消防団施設運営事業 | | 再 2.0 非 計 7.0 | 特 企 計 467 |
| 火災予防体制の充実、火災による被害の軽減 | 予防課 (伊藤 晃) | 正 22.0 | 一 12 |
| ・火災予防指導事業 ・火災予防啓発事業 | | 再 2.0 非 1.0 計 25.0 | 特 企 計 12 |
| 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化 | 警防課 (猪又 正次) 情報指令課 (内田 守彦) | 正 59.0 | 一 1,409 |
| ・消防防災施設等維持管理事業 ・消防防災施設等整備事業 ・救急体制整備事業 ・消防航空隊運営事業【170】 ・消防情報通信ネットワーク事業【171】 | | 再 8.0 非 計 67.0 | 特 企 計 1,409 |
| 計 | 4 課 | 正 100.0 再 14.0 非 5.0 計 119.0 | 一 2,219 特 企 計 2,219 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策⑥ 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

責任者 水道事業及び下水道事業管理者 寺田 賢次

SDGs のゴール ⑥水・衛生 ⑱実施手段

主な取り組み

〔水道〕

- ♪ 『健全な水道経営の持続』に向け、強固な経営基盤を確立するため、アセットマネジメントの導入による水道施設の更新費用の抑制と平準化や、配水区域再編計画の策定、料金制度適正化の検討、職員の技術力の維持向上などの取り組みを進めます。
- ♪ 『安定したサービスと安全な水道水の提供』に向けて、平成 29 年4月に水道事業に経営統合した旧簡易水道について遠方監視システムの集約化等による運営の効率化を引続き進めるほか、中山間地域に適した水道サービスのあり方について検討を行います。
- ♪ 『強靱で安心できる水道システムの構築』に向けて、アセットマネジメント計画に基づき上水道の基幹管路及び水道施設の耐震化を重点的に進め、被災後の断水リスクの軽減に努めます。

〔下水道〕

- ♪ 『良好な環境の創造』に向けて、下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽を効果的に整備する総合的な汚水処理(10 年プラン)の推進や、下水道未接続世帯への接続勧奨の強化による下水道接続率の向上を図ります。
- ♪ 『安全で強靱な下水道機能の確保』に向けて、基幹管路の耐震化などの地震対策を行うほか、浸水被害が予想される地域を対象とする内水ハザードマップの作成など関連部署と連携した総合的な浸水対策を進めます。
- ♪ 『持続可能な下水道経営の推進』に向けて、効率的な建設事業の推進などによる企業債残高の削減を図るほか、平成 30 年4月から開始した下水道西遠処理区の運営委託方式による事業を適切に監視(モニタリング)します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|------------------|--|--|
| 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道 ・浜松市水道事業(水道事業費用) ・浜松市水道事業(資本的支出)【172】 | 水道事業担当課 (★1) | 正 153.0 再 24.0 非 9.0 計 186.0 | 一 488 特 企 18,968 計 19,456 |
| 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道 ・浜松市下水道事業(下水道事業費用) ・浜松市下水道事業(資本的支出)【172・173】 ・浄化槽助成事業 | 下水道事業担当課 (★2) | 正 105.0 再 13.0 非 7.0 計 125.0 | 一 6,450 特 206 企 37,750 計 44,406 |
| 計 | 9 課 | 正 258.0 再 37.0 非 16.0 計 311.0 | 一 6,938 特 206 企 56,718 計 63,862 |

★1 上下水道総務課(山崎 昭)、お客さまサービス課(高橋 伸行)、水道工事課(野本 英晴)、浄水課(杉山 成規)、北部上下水道課(馬淵 勝巳)、天竜上下水道課(森田 信吾)

★2 上下水道総務課(山崎 昭)、お客さまサービス課(高橋 伸行)、下水道工事課(鈴木 秀俊)、下水道施設課(内山 厚)、北部上下水道課(馬淵 勝巳)、天竜上下水道課(森田 信吾)

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。



| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆ 再生可能エネルギー*等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。 |
| 基本政策① | 環境と共生した持続可能な社会の実現 |
| 責任者 | 環境部長 影山 伸枝 |
| SDGsの ゴール | ③保健 ④教育 ⑥水・衛生 ⑦エネルギー ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑬気候変動 ⑭海洋資源 ⑮陸上資源 ⑰実施手段 |
| 主な取り組み | <ul style="list-style-type: none">♪ 地球温暖化対策を推進するため、国民運動 COOL CHOICE の普及啓発や公共交通機関の利用促進により、温室効果ガス排出量の削減を図ります。♪ 市有施設の省エネルギーを推進するため、浜松市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の改定や、点灯時間の長い旧型蛍光灯について、令和元年度から7か年ですべて LED 化するなど、エネルギー使用量の低減を図ります。♪ 特定外来生物クワハラリスによる生態系、農林業、市民生活への被害を未然に防ぐため、効果的な捕獲プランを策定し、市民・事業者・専門家と一体となって、防除対策を推進します。♪ 佐鳴湖の水環境の向上を図るため、佐鳴湖地域協議会が計画する取り組みを、市民との協働により推進します。♪ 一人1日当たり家庭系ごみの排出量が最も少ない政令指定都市を目指す「ごみ減量天下取り大作戦」を展開し、市民と協働して、生ごみの水切り徹底、雑がみの資源化に取り組みます。♪ 家庭や飲食店等からの食品ロス削減を図るため、小学生ごみ減量チャレンジの実施やエコレシピコンテストの開催、「食品ロス削減協力店」と連携したPRに取り組みます。♪ 効率的なごみ処理体制を構築するため、新清掃工場及び新破碎処理センターの造成工事及びアプローチ道路工事の実施など、令和6年度の稼働に向けて円滑な整備を進めます。♪ PCB 含有電気機器等を適正に処理するため、関係機関と連携し効率的な指導を行い、法定期限内での処理を確実なものとしします。 |

*COOL CHOICE: 温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を推進する国民運動

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|--------------------|------------------------------------|------------------------------|
| 環境に配慮した暮らしの定着と自然と共生するまちづくり ・地球環境保全貢献事業【138・139・143】 ・環境教育推進事業 ・生物多様性保全事業【134・135】 | 環境政策課 (藤田 信吾) | 正 14.0 再 1.0 非 2.0 計 17.0 | 一 111 特 企 計 111 |
| 豊かで安全・健康で快適な環境づくり ・水質保全事業【136】 | 環境保全課 (宮崎 幹啓) | 正 18.0 再 1.0 非 計 19.0 | 一 34 特 企 計 34 |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 ・ごみ減量・リサイクル推進事業【129・130・131】 | ごみ減量推進課 (石岡 琢磨) | 正 12.9 再 1.0 非 1.0 計 14.9 | 一 132 特 企 計 132 |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 | 南清掃事業所 (菅沼 卓也) | 正 23.9 再 4.0 非 5.0 計 32.9 | 一 284 特 企 計 284 |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 | 平和清掃事業所 (齋藤 嘉彦) | 正 15.0 再 非 1.0 計 16.0 | 一 646 特 企 計 646 |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 | 浜北環境事業所 (鈴木 敏) | 正 24.2 再 3.8 非 1.0 計 29.0 | 一 308 特 企 計 308 |
| 環境に配慮した資源循環型社会の構築 | 天竜環境事業所 (鈴木 美則) | 正 14.0 再 7.5 非 計 21.5 | 一 315 特 企 計 315 |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 | ごみ減量推進課 (石岡 琢磨) | 正 0.1 再 非 計 0.1 | 一 45 特 企 計 45 |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 ・新清掃工場整備事業【132】 ・西部清掃工場運営事業【133】 | 廃棄物処理課 (苗村 英哉) | 正 32.0 再 3.0 非 4.0 計 39.0 | 一 7,158 特 企 計 7,158 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) | | |
|---------------------------------|---------------------|------------|----------------|---|--------|
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 | 南清掃事業所 (菅沼 卓也) | 正 | 40.1 | 一 | 695 |
| | | 再 | 6.0 | 特 | |
| | | 非 | 4.0 | 企 | |
| | | 計 | 50.1 | 計 | |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 | 平和清掃事業所 (齋藤 嘉彦) | 正 | 8.0 | 一 | 848 |
| | | 再 | 3.0 | 特 | |
| | | 非 | 4.0 | 企 | |
| | | 計 | 15.0 | 計 | |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 | 浜北環境事業所 (鈴木 敏) | 正 | 0.8 | 一 | 59 |
| | | 再 | 0.2 | 特 | |
| | | 非 | | 企 | |
| | | 計 | 1.0 | 計 | |
| 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 | 天竜環境事業所 (鈴木 美則) | 正 | 2.0 | 一 | 190 |
| | | 再 | 0.5 | 特 | |
| | | 非 | | 企 | |
| | | 計 | 2.5 | 計 | |
| 不法投棄対策の推進 ・産業廃棄物適正処理推進事業 | 産業廃棄物対策課 (今井 重徳) | 正 | 14.0 | 一 | 24 |
| | | 再 | 4.0 | 特 | |
| | | 非 | 2.0 | 企 | |
| | | 計 | 20.0 | 計 | |
| 計 | 9 課 | 正 | 219.0 | 一 | 10,849 |
| | | 再 | 35.0 | 特 | |
| | | 非 | 24.0 | 企 | |
| | | 計 | 278.0 | 計 | |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

| | |
|--------------|---------------------------------------|
| 基本政策② | 再生可能エネルギー等の導入と省エネルギーの推進によるエネルギー自給率の向上 |
|--------------|---------------------------------------|

| | |
|------------|------------|
| 責任者 | 産業部長 渡瀬 充雄 |
|------------|------------|

| | |
|------------------|---------------------|
| SDGs のゴール | ⑦エネルギー ⑨イノベーション ⑪都市 |
|------------------|---------------------|

| |
|---------------|
| 主な取り組み |
|---------------|

- ♪ 浜松版スマートシティ(=エネルギーに対する不安がない強靱で低炭素な社会)の実現に向け、浜松市スマートシティ推進協議会を中心に、エネルギーの最適利用やスマートコミュニティの構築など、官民連携によるスマートシティプロジェクトを推進します。
- ♪ 太陽光やバイオマス、風力、小水力など地域特有の再生可能エネルギーやガスコージェネレーション等の地域分散型エネルギーの適正な導入を推進します。
- ♪ 多様な市域のフィールドを活用して、成長産業として期待される環境・エネルギー分野における新ビジネスの創出を促進します。
- ♪ 自家消費型住宅の普及拡大を促進するとともに、マンションなどの省エネ化やエネルギーマネジメントシステムの導入を進めます。
- ♪ 株式会社浜松新電力の運営に参画し、再生可能エネルギーの地産地消を推進します。

| |
|---------------|
| 政策・事業等 |
|---------------|

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|---------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 再生可能エネルギー等の導入 ・スマートシティ推進事業【140・141・165】 | エネルギー政策課 (内山 幸久) | 正 3.9 再 非 0.1 計 4.0 | 一 特 企 計 8 8 |
| 省エネルギーの推進 ・スマートシティ推進事業【145・146・165】 | エネルギー政策課 (内山 幸久) | 正 2.2 再 非 2.4 計 4.6 | 一 特 企 計 109 109 |
| エネルギー関連ビジネスの創出 ・スマートシティ推進事業【142】 | エネルギー政策課 (内山 幸久) | 正 0.9 再 非 0.4 計 1.4 | 一 特 企 計 34 34 |
| 計 | 1 課 | 正 7.0 再 非 3.0 計 10.0 | 一 特 企 計 151 151 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。 |
|------------------------|--|

| | |
|------------------------|---|
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。 ◆ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。 |
|------------------------|---|

| | |
|--------------|--------------------|
| 基本政策① | 人と人とのつながりをつくる社会の実現 |
|--------------|--------------------|

| | |
|------------|--------------|
| 責任者 | 健康福祉部長 朝月 雅則 |
|------------|--------------|

| | |
|----------------------|---|
| SDGsの ゴール | ①貧困 ②飢餓 ③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑧成長・雇用 ⑨イノベーション ⑩不平等 ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑬気候変動 ⑯平和 |
|----------------------|---|

| |
|---------------|
| 主な取り組み |
|---------------|

- ♪ 浜松市社会福祉協議会が実施するコミュニティソーシャルワーカー配置及び活動を支援し、地区社会福祉協議会をはじめとする住民主体の地域福祉活動を推進します。
- ♪ 生活支援体制づくり協議体において、生活支援・介護予防サービスの提供を推進するため、担い手の掘り起しなどの地域課題について話し合いを行うとともに、地域では対応が難しい複雑な課題を解決するために、多機関の協働による包括的な相談支援体制の構築を図ります。
- ♪ 高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、地域ケア会議を効果的に実施し、高齢者への適切な支援に繋がるよう取り組みます。
- ♪ 介護職の魅力の向上、介護職員のキャリアアップ支援、多様な人材の確保・育成など介護人材の確保に向けた取り組みを推進します。
- ♪ 市民へ認知症の正しい知識の普及啓発を図るため認知症サポーター養成講座を開催するほか、認知症本人や家族の視点に立ったオレンジカフェ(認知症カフェ)の運営支援や、認知症の早期発見・早期対応をするため認知症初期集中支援チーム事業を推進するなど認知症施策を総合的に取り組みます。
- ♪ 「70歳現役都市・浜松」の柱である「社会参加支援」と「健康増進」を推進するため、ロコモーショントレーニングや、栄養・口腔機能に関する知識の普及啓発、ささえあいポイント事業によるボランティア活動を推進し、健康寿命の延伸に取り組みます。
- ♪ 地域における障がい者への相談支援体制を強化するため、相談支援事業所の人員体制の見直しなど準備を進めます。
- ♪ 人生の最終段階において、本人、家族等の意向を尊重した医療・ケアを決定するためのプロセスである「アドバンス・ケア・プランニング」の普及啓発に取り組みます。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|-------------------------|--|---|
| 超高齢社会への対応 ・介護保険事業(ロコモーショントレーニング事業) 【22・124】 ・介護保険事業(ささえあいポイント事業)【23・125】 ・介護保険事業(地域包括支援センター運営事業) 【97】 ・介護保険事業(在宅医療・介護連携推進事業) 【98・101】 ・認知症施策推進事業【99】 ・シニアクラブ支援事業【24・126】 ・高齢者施設運営事業【120】 ・老人福祉施設整備費助成事業(補助金) | 高齢者福祉課 (小池 恒弘) | 正 17.7 再 非 7.5 計 25.2 | 一 2,271 特 1,323 企 計 3,594 |
| すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる 地域福祉の推進 ・地域福祉推進事業【26・106・107・128】 | 福祉総務課 (森田 孔二) | 正 16.9 再 3.3 非 5.2 計 25.4 | 一 1,047 特 企 計 1,047 |
| すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる 地域福祉の推進 ・地域高齢者見守り・支援事業 ・シルバー人材センター支援事業【20・122】 | 高齢者福祉課 (小池 恒弘) | 正 2.3 再 非 1.5 計 3.8 | 一 139 特 15 企 計 154 |
| 適正な生活保護扶助費の給付 ・生活保護扶助事業 | 福祉総務課 (森田 孔二) | 正 5.1 再 0.7 非 0.8 計 6.6 | 一 11,289 特 企 計 11,289 |
| 超高齢社会における介護保険事業の健全で安定した運 営 ・介護サービス提供基盤整備費助成事業(補助金) 【100】 | 介護保険課 (市川 和弘) | 正 27.0 再 2.0 非 12.0 計 41.0 | 一 554 特 65,656 企 計 66,210 |
| 国民健康保険事業の健全で安定した運営 ・国民年金受託事務事業 ・国民健康保険事業 ・後期高齢者医療事業 | 国保年金課 (安間 浩) | 正 36.0 再 4.0 非 8.0 計 48.0 | 一 7,265 特 86,168 企 計 93,433 |
| 障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進 ・障害者地域生活支援事業【111・112】 ・こころの健康づくり推進事業【113】 ・障害者就労支援事業【114】 ・障害者施設整備費助成事業(補助金)【115】 ・障害者(児)自立支援給付事業 | 障害保健福祉課 (田中 孝太郎) | 正 33.0 再 非 12.0 計 45.0 | 一 21,384 特 企 計 21,384 |
| 障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進 ・地域リハビリテーション推進事業 | 障害者更生 相談所 (高山 厚志) | 正 7.0 再 非 3.0 計 10.0 | 一 9 特 企 計 9 |
| 計 | 6 課 | 正 145.0 再 10.0 非 50.0 計 205.0 | 一 43,958 特 153,162 企 計 197,120 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策② 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実**責任者**

健康福祉部 医療担当部長 新村 隆弘
健康福祉部 保健所長 西原 信彦

SDGs のゴール ③保健 ⑥水・衛生 ⑧成長・雇用**主な取り組み**

- ♪ 「70 歳現役都市・浜松」の柱である「健康増進」を推進するため、ノルディック・ウォークの普及啓発や、市民の健康増進の担い手となる市民いきいきトレーナーの活用を推進し、健康寿命の更なる延伸に取り組みます。
- ♪ 妊娠・出産・子育て等の相談に加え、不妊に悩む方に対する相談体制の強化を図り、子育て世代が子どもを安心して生み育てられるよう、切れ目のない支援を実施します。
- ♪ 新たに浜松市 AED ガイドラインの周知啓発及びはままつ AED ステーションの登録事業を実施するなど、救急医療体制の充実を図ります。
- ♪ 改正食品衛生法に準拠し、すべての食品等事業者に対して、計画的に HACCP に沿った衛生管理の導入を進め、食の安全性の向上を図ります。
- ♪ 国内外で発生する感染症について、市民に適切な情報提供を行うとともに医療機関と密に連携を取ることで感染症のまん延防止を図ります。
- ♪ 浜松医療センターでは、地域がん診療連携拠点病院など地域の中核病院としての機能拡充に向けて手術支援ロボットを導入するとともに、新病院整備に向けた実施設計及び関連工事に取り組みます。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 生涯にわたる健康づくり <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦乳幼児健康診査事業 ・母子衛生教育事業 ・母子相談事業 ・母子訪問指導事業 ・母子予防接種事業 ・母子医療費等支援事業 ・難病患者等支援事業 ・がん検診等事業 ・健康づくり推進事業【21・103・104・105・123】 ・健康支援事業【102】 ・歯科保健事業【108】 | 健康増進課 (小山 東男) | 正 34.0 再 4.0 非 16.0 計 54.0 | 一 6,712 特 9 企 計 6,721 |
| 安全・安心な医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市病院事業(医療センター事業費用・資本的支出)【110】 ・浜松市病院事業(リハビリ病院事業費用・資本的支出) | 病院管理課 (松下 文明) | 正 11.0 再 1.0 非 計 12.0 | 一 2,255 特 企 8,564 計 10,819 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|---------------------------------------|--|--|
| 安全・安心な医療の提供 ・医療体制充実事業 | 保健総務課 (寺田 晃) 保健所浜北支所 (山本 直規) | 正 21.5 再 2.0 非 8.3 計 31.8 | 一 62 特 企 計 62 |
| 地域医療・地域包括ケアの推進 ・救急医療事業 ・災害時医療救護対策推進事業 ・健康医療推進事業 | 健康医療課 (山中 信次) | 正 22.0 再 1.0 非 8.0 計 31.0 | 一 699 特 企 計 699 |
| 地域医療・地域包括ケアの推進 ・佐久間病院事業費用・資本的支出(病院事業) | 佐久間病院 (月花 忠孝) | 正 68.0 再 6.0 非 19.0 計 93.0 | 一 586 特 企 829 計 1,415 |
| こころの健康づくりの推進 ・精神保健福祉推進事業 ・自殺対策推進事業 ・ひきこもり対策推進事業 | 精神保健福祉 センター (二宮 貴至) | 正 13.0 再 非 5.0 計 18.0 | 一 82 特 企 計 82 |
| 地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成 ・学校管理運営事業 ・看護師就業促進事業 ・看護専門学校移転事業 | 看護専門学校 (天野 靖子) | 正 20.0 再 3.0 非 3.0 計 26.0 | 一 207 特 企 計 207 |
| 保健予防と食の安全対策の推進 ・食中毒、感染症検査事業 ・食品残留農薬等検査事業 ・食肉安全対策推進事業 ・大気汚染、悪臭等測定事業 ・河川、工場排水等水質測定事業 | 保健環境研究所 (内藤 康彦) | 正 33.0 再 6.0 非 6.0 計 45.0 | 一 269 特 企 計 269 |
| 保健予防と食の安全対策の推進 ・生活衛生対策推進事業 ・感染症対策事業 ・食の安全対策推進事業 ・栄養指導事業 | 生活衛生課 (林 浩孝) 保健所浜北支所 (山本 直規) | 正 35.5 再 1.0 非 8.5 計 45.0 | 一 99 特 企 計 99 |
| 計 | 10 課 | 正 258.0 再 24.0 非 73.8 計 355.8 | 一 10,971 特 9 企 9,393 計 20,373 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。



| | |
|------------------------|--|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。 |
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。 |
| 基本政策① | 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造 |
| 責任者 | 市民部 文化振興担当部長 寺田 聖子 |
| SDGsの ゴール | ③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑥水・衛生 ⑧成長・雇用 ⑨イノベーション ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑬気候変動 ⑭海洋資源 ⑮陸上資源 ⑰実施 手段 |
| 主な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ♪ 市民が主体となった創造的活動の活性化を図るため、浜松アーツ&クリエイションによる伴走支援を含む新たな助成制度を開始するとともに、2020 文化プログラム推進事業のプレイベントとなる「(仮称)サウンドデザインファクトリーin 浜松」を開催します。 ♪ 世界的なピアニストを育成するとともに、浜松市民がピアノの可能性を、楽しみ、感じ、学ぶ機会を提供するため、「新たなピアノアカデミー事業」を実施し、「浜松国際ピアノコンクール」とあわせて「音楽の都・浜松」を発信します。 ♪ 次代の音楽文化を担う人材育成や市民の音楽活動の場を提供するため、(仮称)市民音楽ホールの令和2年度中の供用開始に向けた整備を進めます。 ♪ 浜松科学館を令和元年7月にリニューアルオープンし、科学教育の拠点として、事業を展開していきます。 ♪ 遠州灘海浜公園への県立野球場の実現に向けて、静岡県と継続して協議を進めます。 ♪ 四ツ池公園運動施設の基本構想策定に向けた取り組みを進めます。 ♪ ラグビーワールドカップ2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る事前キャンプ等、受け入れ環境の整備を行います。 ♪ ビーチ・マリンスポーツの聖地を目指した環境整備や大会誘致活動等に取り組めます。 ♪ 二侯城跡・鳥羽山城跡保存活用計画、浜松城跡の発掘調査などを通じ、浜松市の特色ある歴史文化資産を広く公開し、市民とともに保護活用を図っていきます。 ♪ これまでに認定した浜松地域遺産を広く紹介するとともに、市民協働で更なる地域遺産の掘起しを続け、文化財を地域の新たな創造活動につなげていきます。 ♪ 電子図書による多言語資料や日本語学習資料の充実を図り、多文化共生社会を推進する環境づくりを進めます。 ♪ 美術館では、写実表現で世界的に活躍する斎藤雅緒氏や石黒賢一郎氏のほか、秋野不矩氏など、郷土ゆかりの作家を核とした調査・研究に取り組み、その魅力を発信します。 |

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|---------------------------|------------------------------------|------------------------------|
| 生涯スポーツを楽しむ機会の拡大 ・スポーツ普及・活性化事業【117・118・119】 ・ブラジルホストタウン交流事業【201】 ・大型スポーツイベント等誘致事業【41・197・199・200】 ・ビーチ・マリンスポーツ推進事業【196】 ・スポーツ発信交流事業 ・スポーツ施設運営事業【116・202・203】 | スポーツ振興課 (北村 聡) | 正 16.0 再 非 2.0 計 18.0 | 一 2,203 特 企 計 2,203 |
| 生涯学習を享受できる機会の充実 ・生涯学習施設運営事業【183】 ・生涯学習機会提供事業【25・76・79・127】 | 創造都市・ 文化振興課 (藤田 健次) | 正 6.0 再 非 1.0 計 7.0 | 一 2,272 特 企 計 2,272 |
| 地域の文化遺産の継承 ・文化財調査顕彰事業 ・文化財保護継承事業【189】 ・文化財施設公開事業 ・文化財活用地域連携事業【188・190】 ・埋蔵文化財調査事業【169】 | 文化財課 (太田 好治) | 正 10.0 再 3.0 非 7.0 計 20.0 | 一 265 特 企 計 265 |
| 地域の文化遺産の保全・活用 ・博物館運営事業 ・遺跡公園運営事業 ・博物館展示会開催事業 ・学習会開催等連携事業 | 文化財課 (太田 好治) | 正 9.0 再 2.0 非 6.0 計 17.0 | 一 92 特 企 計 92 |
| 芸術・文化の拠点の創造と発信 ・音楽文化発信・交流事業【178】 ・芸術文化人材育成事業【178】 ・市民音楽文化振興事業【178】 ・文化施設管理事業【174・177】 ・文化推進運営経費【179】 | 創造都市・ 文化振興課 (中村 公彦) | 正 7.0 再 非 7.0 計 7.0 | 一 2,048 特 企 計 2,048 |
| 創造都市の推進 ・創造都市推進事業【27・40・175・176】 | 創造都市・ 文化振興課 (鈴木 三男) | 正 6.0 再 非 1.0 計 7.0 | 一 73 特 企 計 73 |
| 美術館の魅力の創出 ・美術館運営事業 ・美術館展覧会開催事業【184】 ・秋野不矩美術館運営事業 ・秋野不矩美術館展覧会開催事業【184】 | 美術館 (飯室 仁志) | 正 10.0 再 非 2.0 計 12.0 | 一 203 特 企 計 203 |
| 知の拠点としての図書館機能の拡大 ・図書館運営事業 | 中央図書館 (高瀬 理子) | 正 42 再 3 非 17 計 62 | 一 1,115 特 企 計 1,115 |
| 計 | 5 課 | 正 106 再 8 非 36 計 150 | 一 8,271 特 企 計 8,271 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。



| | |
|-----------------------|---|
| 理想の姿 (30年後) | ◆ 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。 |
|-----------------------|---|

| | |
|-----------------------|--|
| 政策の柱 (10年後) | ◆ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 ◆ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。 |
|-----------------------|--|

| | |
|--------------|-----------------|
| 基本政策① | 市民と共に未来をつかむ都市経営 |
|--------------|-----------------|

| | |
|------------|---------------|
| 責任者 | 企画調整部長 内藤 伸二郎 |
|------------|---------------|

| | |
|-----------------|---------------|
| SDGsのゴール | ④教育 ⑪都市 ⑰実施手段 |
|-----------------|---------------|

| |
|---------------|
| 主な取り組み |
|---------------|

- ♪ 戦略計画2019を核としたPDCAサイクルにより、浜松市総合計画及び浜松市“やらまいか”総合戦略を推進します。
- ♪ 行政区の再編について、住民投票の結果を踏まえ、市議会との協議を進めます。
- ♪ SDGsの認知度向上や理念等の普及啓発のため、シンポジウムを開催します。また、本市における課題解決に向けた新たな官民連携プラットフォームを設置します。
- ♪ 出入国管理及び難民認定法の改正も踏まえ、多文化共生都市ビジョンに基づく取組を進めるとともに、多文化共生都市の国際連携やSDGsの推進をテーマとした国際会議を開催します。
- ♪ 民間の知恵と技術を活用することによる市民サービスの向上、行政の透明化、さらに新たなサービスやビジネスの創出を図るため、行政が蓄積した情報を誰もが自由に利用できるオープンデータとして公開します。
- ♪ 市民サービスの向上や業務の効率化を図るため、AI(人工知能)やRPA(業務プロセスの自動化)等の先進技術の導入・活用を積極的に進めます。

| |
|---------------|
| 政策・事業等 |
|---------------|

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成31年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--|------------------|----------------------------|---------------------|
| 「浜松市未来ビジョン」の実現に向けた総合計画の推進 ・浜松市総合計画推進事業【219】 ・区制検討事業【204】 | 企画課 (鈴木 秀司) | 正 11.4 再 非 計 11.4 | 一 特 企 計 32 |
| 基礎自治体としての自立 ・大都市制度調査研究事業【218】 ・広域行政推進事業【216・217】 | 企画課 (鈴木 秀司) | 正 5.6 再 非 計 5.6 | 一 特 企 計 17 |
| 戦略拠点の連携強化 ・首都圏情報収集発信事業 ・東京事務所運営経費 | 東京事務所 (石塚 良明) | 正 5.0 再 非 計 6.0 | 一 特 企 計 38 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|------------------|--------------------------------------|--|
| 市民主体のまちづくりを支える広聴広報の好循環 ・市政広報事業【214】 ・広聴事業 | 広聴広報課 (仲井 英之) | 正 15.0 再 15.0 非 15.0 計 15.0 | 一 201 特 201 企 201 計 201 |
| 世界とのつながりと多様性を活かした都市の活性化 ・多文化共生推進事業【83・180・182】 ・国際交流連携推進事業【181】 | 国際課 (佐藤 宏明) | 正 6.0 再 4.0 非 10.0 計 10.0 | 一 205 特 205 企 205 計 205 |
| 行政サービスがだれでもどこでもいつでも受けられる電子自治体の推進 ・ICT 戦略推進事業【213】 | 情報政策課 (村上 隆康) | 正 26.0 再 3.0 非 29.0 計 29.0 | 一 1,807 特 1,807 企 1,807 計 1,807 |
| 計 | 5 課 | 正 69.0 再 23.0 非 92.0 計 92.0 | 一 2,300 特 2,300 企 2,300 計 2,300 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

| | |
|------------------|--|
| 基本政策② | だれもがいいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現 |
| 責任者 | 市民部長 山下 昭一 |
| SDGs のゴール | ③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑧成長・雇用 ⑪都市 ⑰実施手段 |
| 主な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ♪ 住民に身近な行政組織である協働センターにおいて、エリアマネージャーによる総括のもと、コミュニティ担当職員による地域状況に応じたコミュニティ支援を行います。 ♪ 地域活動に市民が参加する頻度を高め新たな担い手の掘り起こしを図るため、講座や交流会を開催し、地域活動に一步踏み出すきっかけを提供します。 ♪ 地域住民への活動の場の提供と活性化のため、身近な公共施設の管理運営を地域のコミュニティ組織に委ねます。 ♪ 浜松市市民協働センター内に設置した「学生ボランティアセンター」において、学生ボランティアサークル間の連携強化や、ボランティアに関する情報発信などを行い、学生による社会貢献活動の一層の活発化を図ります。 ♪ 中山間地域の課題解決と移住希望者の仕事づくりのため、完全閉鎖型陸上養殖の事業化、ドローン技術の活用など中山間地域あらたな仕事づくり研究事業やコミュニティビジネス起業貸付金事業を行います。 ♪ 「やま」と「まち」のコラボによる山の魅力体感イベント「ザ・山フェス」や中山間地域の生活に密着した生業に関わる優れた技術を体験する山の匠体験講座事業などにより、都市部と中山間地域における住民同士の交流機会を創出するとともに、特産品プロモーション事業などで新たなモノの流れを創出し、市民の中山間地域への関心を高めます。 ♪ 出張移住相談会の定期開催など首都圏でのプロモーション活動を実施するとともに、はじめようハマライフ助成事業の実施、移住コーディネーターや他団体と連携した支援などにより、浜松への移住・定住を促進します。 ♪ 人口減少、高齢化が進む中山間地域において、地域力の維持・向上を図るため、浜松山里いきいき応援隊を配置し、地域に居住している市民の暮らしを支えます。 ♪ 誰もが容易に情報へのアクセスやコミュニケーションを図ることができるよう、窓口等でICTを活用したコミュニケーション支援を行います。 ♪ ブラジルパラリンピック選手団事前合宿が行われる公共施設を対象に ISO(国際規格)に合わせたピクトグラムの改修・設置をするとともに、心のUDを推進するための人材育成や周知・啓発事業を進めます。 ♪ 地域におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進を図るため、経営者・管理職を対象とした意識改革及び業務改善につながるセミナーを開催するほか、女性の継続就労・キャリアアップを支援するための事業を行います。 |

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|---------------------------|------------|----------------|
| 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進 | 市民協働・ 地域政策課 (岡安 章宏) | 正 11.2 | 一 281 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働推進事業【185】 ・はままつ暮らし促進事業 ・自治会等コミュニティ振興事業【186・187・205】 ・地域力向上事業【191】 | | 再 2.9 | 特 281 |
| | | 非 14.1 | 企 281 |
| 計 | | 計 30.0 | 計 665 |
| “まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の振興 | 市民協働・ 地域政策課 (岡安 章宏) | 正 4.8 | 一 336 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・居住促進事業【192】 ・生活支援事業 ・中山間地域まちづくり事業【192】 ・中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業 ・市内間交流事業 | | 再 1.1 | 特 336 |
| | | 非 5.9 | 企 336 |
| 計 | | 計 11.8 | 計 672 |
| 自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現 | UD・男女共同参画課 (鈴木 江利子) | 正 3.5 | 一 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン推進事業【193・194】 | | 再 1.0 | 特 10 |
| | | 非 1.0 | 企 10 |
| 計 | | 計 5.5 | 計 30 |
| 一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進 | UD・男女共同参画課 (鈴木 江利子) | 正 3.5 | 一 38 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランス推進事業【18・71】 ・活動拠点施設事業 | | 再 1.0 | 特 38 |
| | | 非 4.5 | 企 38 |
| 計 | | 計 9.0 | 計 76 |
| 計 | 2 課 | 計 30.0 | 計 665 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策③ 人的・制度的運用の推進による都市経営の基盤づくり

責任者 総務部長 川嶋 朗夫

SDGs のゴール ⑯平和 ⑰実施手段

主な取り組み

- ♪ 効果的な行政運営を実現するため、組織・定員及び給与の適正化並びに抜本的な事業の見直しを推進するとともに、民間事業者等の知恵・資金等を活用した民間活力の導入に取り組みます。
- ♪ 市民満足度の高いサービスを提供するため、新しい課題に即応していく人材の育成を進めるとともに、女性職員が活躍するための各種事業・環境整備に取り組みます。
- ♪ 地方分権の進展に伴う自主立法の増加、法令遵守に対する市民の要求の高まりに対応するため、効果的かつ継続的な研修や弁護士等相談制度を通して、職員の法務能力の向上を図ります。
- ♪ 職員の健康の保持増進を図るため、健康相談、保健指導やストレスチェックを行い、職員の健康管理に努めます。
- ♪ 公平公正で開かれた市政の運営を推進するため、情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用を図ります。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|----------------------------|------------------|------------|----------------|
| 秘書・表彰業務の推進 | 秘書課 (袴田 智久) | 正 9.0 | 一 45 |
| ・市長・副市長秘書管理事業 | | 再 | 特 |
| ・市制記念式典開催事業 | | 非 | 企 |
| ・政策調整事業【96】 | 計 9.0 | 計 45 | |
| 適正な組織体制と定員管理 | 人事課 (奥家 章夫) | 正 18.0 | 一 165 |
| ・人事管理運営事業 | | 再 | 特 |
| | | 非 | 企 |
| | 計 21.0 | 計 165 | |
| 職員の育成 | 人事課 (奥家 章夫) | 正 7.0 | 一 84 |
| ・人材開発推進事業 | | 再 | 特 |
| | | 非 | 企 |
| | 計 9.0 | 計 84 | |
| 政策法務の推進 | 政策法務課 (福田 哲巳) | 正 8.5 | 一 17 |
| ・政策法務事業 | | 再 | 特 |
| | | 非 | 企 |
| | 計 10.5 | 計 17 | |
| 持続可能な都市経営の推進 | 政策法務課 (福田 哲巳) | 正 8.3 | 一 7 |
| ・経営改革推進事業【207・208・209・215】 | | 再 | 特 |
| | | 非 | 企 |
| | 計 10.9 | 計 7 | |
| 職員の健康管理と職場環境の安全管理 | 職員厚生課 (小林 俊博) | 正 8.0 | 一 161 |
| ・職員の健康、安全衛生管理事業 | | 再 | 特 |
| ・職員の被服貸与、福利厚生事業 | | 非 | 企 |
| ・恩給及び退職年金に関する事業 | 計 15.0 | 計 161 | |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 行政情報の提供・公開 ・公文書管理事業 ・住居表示事業 ・統計調査員確保対策事業 ・基幹統計調査事業 ・統計運営経費 | 文書行政課 (小野 哲司) | 正 13.3 再 1.0 非 4.9 計 19.2 | — 118 特 企 計 118 |
| 計 | 5 課 | 正 72.1 再 5.6 非 16.9 計 94.6 | — 597 特 企 計 597 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策④ 将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進

責任者 財務部長 森本 哲司
財務部 税務担当部長 田中 克

SDGs のゴール ⑧成長・雇用 ⑩不平等 ⑪都市 ⑮陸上資源

主な取り組み

- ♪ 中期財政計画の目標達成に向け、規律ある財政運営を堅持し、将来世代への負担軽減を図ります。
- ♪ 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の改修・更新、統廃合、長寿命化や、民間活力の導入による財政負担の軽減など、ファシリティマネジメントの推進を図ります。
- ♪ 市税収納率の向上を図り、安定的な財源の確保に努めます。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|---|------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 将来を見据えた持続可能な財政運営の維持 ・議案作成事業 ・財政状況公表事業【206】 ・財政管理運営経費 | 財政課 (小松 靖弘) | 正 17.0 再 非 1.0 計 18.0 | 一 1,176 特 48,624 企 計 49,800 |
| ファシリティマネジメントの推進 ・アセットマネジメント推進事業【154・210・211】 ・公有財産維持管理事業【212】 ・借地解消事業【212】 | アセットマネジメント 推進課 (鈴木 克幸) | 正 18.0 再 1.0 非 14.0 計 33.0 | 一 1,780 特 企 計 1,780 |
| 安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供 ・公共建築物長寿命化推進事業 ・公共建築物耐震化推進事業 ・公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業 | 公共建築課 (宮本 勝弘) | 正 30.0 再 3.0 非 3.0 計 36.0 | 一 2,004 特 企 計 2,004 |
| 工事・物品の適正な契約 ・電子入札システム事業 ・調達運営経費 | 調達課 (望月 喜夫) | 正 20.0 再 2.0 非 2.0 計 24.0 | 一 52 特 企 計 52 |
| 技術職員の技術力向上 ・職員技術研修事業 ・建設工事技術管理事業 ・工事検査事業 | 技術監理課 (山村 宜之) | 正 15.0 再 6.0 非 2.0 計 23.0 | 一 50 特 企 計 50 |
| 公平公正・効率的な課税と収納 効率的な市税の賦課徴収体制の確立 ・税務管理事業 ・税務総務事業 | 税務総務課 (清水 健次) | 正 21.0 再 1.0 非 4.0 計 26.0 | 一 654 特 企 計 654 |
| 公平公正・効率的な課税と収納 適正な課税による市税収入の確保(市民税) ・賦課徴収事業 | 市民税課 (太田 圭介) | 正 71.0 再 8.0 非 14.0 計 93.0 | 一 175 特 企 計 175 |

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) | | |
|---|------------------|------------|----------------|---|--------|
| 公平公正・効率的な課税と収納 適正な課税による市税収入の確保(固定資産税) ・賦課徴収事業 | 資産税課 (袴田 幸保) | 正 | 71.0 | — | 220 |
| | | 再 | 13.0 | 特 | |
| | | 非 | 10.0 | 企 | |
| | | 計 | 94.0 | 計 | 220 |
| 公平公正・効率的な課税と収納 市未収債権の厳正な回収 ・収納対策事業 | 収納対策課 (加藤 浩二) | 正 | 59.0 | — | 115 |
| | | 再 | 5.0 | 特 | |
| | | 非 | 21.0 | 企 | |
| | | 計 | 85.0 | 計 | 115 |
| 計 | 9 課 | 正 | 321.0 | — | 6,226 |
| | | 再 | 40.0 | 特 | 48,624 |
| | | 非 | 71.0 | 企 | |
| | | 計 | 432.0 | 計 | 54,850 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策⑤ —

責任者 会計管理者 那須田 政廣

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|-------------|----------------|------------------------------------|--------------------------|
| 会計管理運営業務の推進 | 会計課 (島津 一義) | 正 29.0 再 2.0 非 3.0 計 34.0 | 一 134 特 企 計 134 |
| 計 | 1 課 | 正 29.0 再 2.0 非 3.0 計 34.0 | 一 134 特 企 計 134 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

| | |
|------------------|--------------------|
| 基本政策⑥ | — |
| 責任者 | 市選挙管理委員会事務局長 石川 正喜 |
| SDGs のゴール | ⑩不平等 |
| 政策・事業等 | |

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | | R1 予算 (百万円) | |
|---|----------------------------|------------------|--------------------------|------------------|--------------------|
| 公正かつ適正な選挙の実施 ・参議院議員選挙 ・統一地方選挙 ・土地改良区総代選挙 ・選挙人名簿作成事業 ・明るい選挙推進事業 | 市選挙管理 委員会事務局 (小野 哲司) | 正 再 非 計 | 6.7 1.0 1.1 8.8 | — 特 企 計 | 599 599 |
| 計 | 1 課 | 正 再 非 計 | 6.7 1.0 1.1 8.8 | — 特 企 計 | 599 599 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

基本政策⑦ —

責任者 人事委員会事務局長 三井 啓義

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ —=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) |
|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|------------------------|
| 適正かつ公平中立な人事行政運営の推進 | 人事委員会 事務局 (平野 正啓) | 正 9.0 再 1.0 非 2.0 計 12.0 | — 36 特 企 計 36 |
| 計 | 1 課 | 正 9.0 再 1.0 非 2.0 計 12.0 | — 36 特 企 計 36 |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

| | |
|------------------|--------------|
| 基本政策⑧ | — |
| 責任者 | 監査事務局長 長坂 芳達 |
| SDGs のゴール | ⑩平和 |
| 政策・事業等 | |

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、非=非常勤職員。時点は、平成 31 年 4 月 1 日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

| 政策 主要事業 | 担当組織 (責任者) | 職員数 (人) | R1 予算 (百万円) | | |
|-------------------|------------------|------------|----------------|---|----|
| 行財政運営に対する監査・指導の推進 | 監査事務局 (松尾 邦雄) | 正 | 13.0 | 一 | 5 |
| | | 再 | | 特 | |
| | | 非 | 1.0 | 企 | |
| | | 計 | 14.0 | 計 | |
| 行財政運営に対する監査・指導の推進 | 政策法務課 (福田 哲巳) | 正 | 0.2 | 一 | 15 |
| | | 再 | 0.4 | 特 | |
| | | 非 | | 企 | |
| | | 計 | 0.6 | 計 | |
| 計 | 2 課 | 正 | 13.2 | 一 | 20 |
| | | 再 | 0.4 | 特 | |
| | | 非 | 1.0 | 企 | |
| | | 計 | 14.6 | 計 | |

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.63～)における戦略項目No.を示す。

Ⅲ 総合戦略



| | |
|--------------------------------|--------|
| 基本目標Ⅰ 若者がチャレンジできるまち | |
| I-1 地元産業力の強化 | (P.53) |
| I-2 労働供給力の開拓 | (P.55) |
| 基本目標Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち | |
| II-1 結婚・妊娠・出産・子育ての 切れ目のない支援 | (P.56) |
| II-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成 | (P.58) |
| 基本目標Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち | |
| III-1 安全・安心なまちづくり | (P.59) |
| III-2 にぎわいの創出 | (P.60) |
| III-3 支えあいによる地域社会の形成 | (P.61) |
| III-4 コンパクトでメリハリの効いたまちづくり | (P.62) |

I - 1 地元産業力の強化

○ 基本的方向

◆ 施策

| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | (2015) | (2016) | (2017) | (2018) | (2019) |
| | | | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 目標値 |
| | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |

(1) イノベーションの連鎖を生み出す新産業の創出と既存産業の高度化

ア 「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援

| ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 [1事業] | ①：粗付加価値額 (従業員4人以上の事業所) 【千円】 | 73,851 (H26速報値) | 87,575 | 88,450 | 89,335 | 91,131 | 92,953 |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------|--------|
| | | | 75,372 (H26確定値) | 71,028 (H27確報値) | 71,405 (H28確報値) | ★ 77,539 (H29速報値) | |
| | ②：新技術・新製品開発 などの事業化件数 【件】 | 43 (H26実績) | 40 | 40 | 40 | 40 | 260 |
| | | | 47 | 63 | 69 | 53 | |

イ “やらまいか精神”が根付く地場産業の支援

| ・地域産業振興支援事業 《産業振興課》 [1事業] | ①：粗付加価値額 (従業員4人以上の事業所) 【千円】 | 73,851 (H26速報値) | 87,575 | 88,450 | 89,335 | 91,131 | 92,953 |
|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------|--------|
| | | | 75,372 (H26確定値) | 71,028 (H27確報値) | 71,405 (H28確報値) | ★ 77,539 (H29速報値) | |
| | | | | | | | |

ウ 農林水産業の6次産業化などの推進

| ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 ・低コスト林業推進事業 《林業振興課》 ・林業成長産業化推進事業 《林業振興課》 [5事業] | ①：浜松市未来を拓く農 林漁業育成事業費補助金 申請件数 【件】 | 20 (H27実績) | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |
|--|---|-----------------|------|------|------|------|------|
| | | | 17 | 39 | 57 | 74 | |
| | ②：グリーン・ツーリズムに よる交流人口 【万人/年】 <td rowspan="2">286 (H25実績)</td> <td>291</td> <td>294</td> <td>297</td> <td>300</td> <td>303</td> | 286 (H25実績) | 291 | 294 | 297 | 300 | 303 |
| | | | 304 | 314 | 411 | ★ | |
| | ③：木材生産量 【万m ³ /年】 <td rowspan="2">10.5 (H26実績)</td> <td>11.3</td> <td>12.0</td> <td>12.8</td> <td>13.6</td> <td>14.3</td> | 10.5 (H26実績) | 11.3 | 12.0 | 12.8 | 13.6 | 14.3 |
| | | | 11.7 | 12.9 | 12.6 | ★ | |

エ 天竜材のブランド力強化及び流通拡大

| ・森林管理事業 《林業振興課》 ・木材需要拡大事業 《林業振興課》 [3事業] | ①：木材・木製品製造業 製造品出荷額 【億円/年】 | 260 (H25実績) | 323 | 355 | 324 | 355 | 450 |
|---|---|-------------------|----------------|----------------|----------------|--------|--------|
| | | | 229 (H26実績) | 177 (H27実績) | 239 (H28実績) | ★ | |
| | ②：FSC森林認証面積 【ha】 <td rowspan="2">43,238 (H26実績)</td> <td>43,500</td> <td>44,000</td> <td>44,500</td> <td>45,000</td> <td>45,500</td> | 43,238 (H26実績) | 43,500 | 44,000 | 44,500 | 45,000 | 45,500 |
| | | | 43,553 | 44,404 | 45,131 | 45,270 | |

(2) 海外展開支援と集積による地域企業活性化

ア 海外の活力を取り込むビジネス展開支援

| ・海外ビジネス展開支援事業 《産業振興課》 [3事業] | ①：見本市出展企業の 成約件数 【件】 | 4 (H26実績) | 8 | 10 | 20 | 20 | 25 |
|-----------------------------------|--|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 5 | 24 | 40 | 35 | |
| | ②：海外展開企業数 【社】 <td rowspan="2">139 (H26実績)</td> <td>145</td> <td>150</td> <td>155</td> <td>160</td> <td>165</td> | 139 (H26実績) | 145 | 150 | 155 | 160 | 165 |
| | | | 142 | 139 | 137 | 135 | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

★について

- [(1) ア①]:平成31年3月現在の速報値。令和元年12月頃確定予定。
- [(1) イ①]:平成31年3月現在の速報値。令和元年12月頃確定予定。
- [(1) ウ②]:平成31年3月現在で未確定。令和元年10月頃確定予定。
- [(1) ウ③]:平成31年3月現在で未確定。令和元年9月頃確定予定。
- [(1) エ①]:平成31年3月現在で未確定。令和元年9月頃確定予定。

浜松市“やらまいか”総合戦略 基本目標 I「若者がチャレンジできるまち」： 戦略計画 2019

| ○ 基本的方向 | | | | | | | | |
|---|--|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------|--|
| ◆ 施策 | | | | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標 (KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 (2015) 計画値 実績値 | H28 (2016) 計画値 実績値 | H29 (2017) 計画値 実績値 | H30 (2018) 計画値 実績値 | R1 (2019) 目標値 | |
| イ 新たなリーディング産業となる企業の誘致推進 | | | | | | | | |
| ・企業立地推進事業 《企業立地推進課》 [3事業] | ①：企業立地決定件数 【件】 | 87 (H22～H26 実績) | 20 16 | 45 46 | 70 68 | 88 96 | 116 | |
| ウ 農林水産物の海外販路開拓 | | | | | | | | |
| ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 [2事業] | ①：商談会などにおける 成約件数 【件】 | 新規 | 5 7 | 5 10 | 5 7 | 5 5 | 30 | |
| (3) 新規創業・就農のチャレンジサポート | | | | | | | | |
| ア 創業希望者への相談・情報提供の推進 | | | | | | | | |
| ・創業支援事業 《産業振興課》 [2事業] | ①：創業支援事業に伴う 新規創業者数(法人登記 数) 【人/年】 | 93 (H26 実績) | 100 120 | 105 98 | 110 99 | 115 120 | 120 | |
| イ 新規就業者などへの支援 | | | | | | | | |
| ・担い手育成支援事業 《農業振興課》 ・林業従事者助成事業(補助 金) 《林業振興課》 [2事業] | ①：新規就農者支援件 数 【件】 ②：新規就業者(林業) 支援件数 【件】 | 新規 新規 | 20 6 — | 26 24 5 | 44 30 6 | 50 41 6 | 61 20 | |
| (4) 担い手第一主義の農林水産業振興 | | | | | | | | |
| ア 農地の流動化による有効利用の推進 | | | | | | | | |
| ・農地の確保と有効利用事業 《農地利用課》 ・優良農地の確保推進事業 《農業委員会事務局》 [8事業] | ①：担い手への農地集積 率 【%】 | 29 (H27 実績) | 30 30 | 32 30 | 34 30 | 36 31 | 38 | |
| イ 多様な担い手の育成 | | | | | | | | |
| ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 ・市民に親しまれる農業推進事 業 《農業振興課》 [4事業] | ①：農業経営塾卒業生 【人】 ②：市民ふれあい農園数 【か所】 | H27 新規 50 (H26 実績) | — — 52 52 | 15 17 54 51 | 15 17 54 52 | 15 21 54 52 | 45 54 | |
| (5) 浜松版スマートシティの推進 | | | | | | | | |
| ア 浜松版スマートシティの実現 | | | | | | | | |
| ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 [1事業] | ①：スマートシティプロジェ クトの創出件数 【件】 | H27 新規 | — — | 2 2 | 5 5 | 7 8 | 10 | |
| イ 日照時間日本一を活かしたエネルギー自給率の向上 | | | | | | | | |
| ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 [1事業] | ①：エネルギー自給率 【%】 | 8.2 (H26 実績) | 8.7 10.4 | 11.3 12.9 | 13.8 13.8 | 14.8 14.9 | 15.4 | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

I - 2 労働供給力の開拓

○ 基本的方向

◆ 施策

| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 (2015) | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | R1 (2019) |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| | | | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 目標値 |

(1) チャレンジ・再チャレンジを後押しする就労支援

ア ハピキャリアもバリキャリアも活躍できる環境づくり

| | | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|----|----|----|----|----|------|
| ・雇用促進事業 《産業総務課》 [1事業] | ①：支援女性の就業率 【%】 | 新規 | 30 | 35 | 50 | 50 | 50.0 |
| | | | 47 | 42 | 87 | 41 | |

イ UIJターンの地元就職支援

| | | | | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|--|---|------|------|------|------|
| ・雇用促進事業 《産業総務課》 [1事業] | ①：COC+への市内参加 校卒業生の市内就職率 | | — | — | 20.6 | 22.6 | 24.6 |
| | | | — | 18.6 | 22.8 | 20.1 | |

ウ 就職を希望する人への就労支援

| | | | | | | | |
|--|---|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| ・雇用促進事業 《産業総務課》 ・障害者就労支援事業 《障害保健福祉課》 [3事業] | ①：支援就職困難者の 就業率 【%】 | 57.0 (H26実績) | 57 | 58 | 59 | 60 | — |
| | | | 63 | 64 | 60 | 62 | |
| | ②：障害者就労支援施 設から一般就労への移行 者数 【人/年度】 | 115 (H26実績) | 163 | 183 | 203 | 210 | 159 |
| | | | 147 | 116 | 148 | 150 | |

エ 働きやすさ・住みやすさの発信

| | | | | | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|---------------|----|----|----|----|----|
| ・浜松市総合計画推進事業 《企画課》 [2事業] | ①：市区町村別認知度 ランキング(全国順位) 【位】 | 25 (H26実績) | 23 | 21 | 23 | 17 | 15 |
| | | | 25 | 27 | 30 | 47 | |
| | ②：市区町村別認知度 ランキング(県内順位) 【位】 | 2 (H26実績) | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 |
| | | | 2 | 2 | 2 | 3 | |

(2) だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備

ア ワーク・ライフ・バランスの推進

| | | | | | | | |
|--|---|--------|-----------|----|----|----|----|
| ・ワーク・ライフ・バランス推進事 業 《UD・男女共同参画課》 [1事業] | ①：ワーク・ライフ・バランス 等推進事業所認証事業所 数 【社/年】 | H28 新規 | — (準備) | 10 | 10 | 30 | 30 |
| | | | — (準備) | 30 | 39 | 14 | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

○ 基本的方向

◆ 施策

| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------|
| | | | (2015) 計画値 実績値 | (2016) 計画値 実績値 | (2017) 計画値 実績値 | (2018) 計画値 実績値 | (2019) 目標値 |

(1) 結婚・妊娠の希望を全力で応援

ア 結婚・妊娠に対する前向きな機運の醸成

| | | | | | | | |
|---|---------------------------------|-----------------|------|------|------|------|--------|
| ・地域少子化対策強化事業 《次世代育成課》 ・母子衛生教育事業 《健康増進課》 [2事業] | ①：女性の平均初婚年齢 【歳】 | 29 (H26実績) | 28.6 | 28.2 | 27.8 | 27.4 | 27 |
| | ②：全妊婦の内、20歳～34歳に妊娠した人の割合 【%】 | 75.9 (H26実績) | 29.2 | 29.2 | 29.1 | ★ | 80.0以上 |
| | | | 76.8 | 77.6 | 78.4 | 79.2 | |
| | | | 76.8 | 75.7 | 74.8 | 74.4 | |

イ 不妊に対する包括的な支援

| | | | | | | | |
|---------------------------------|------------------------------|-----------------|------|------|------|------|------|
| ・母子医療費等支援事業 《健康増進課》 [1事業] | ①：特定不妊治療(初回)治療開始時平均年齢 【歳】 | 35.6 (H26実績) | 35.5 | 35.3 | 34.9 | 34.8 | 35未満 |
| | | | 35.5 | 35.0 | 34.9 | 34.8 | |

(2) 安心して出産できる環境づくり

ア 母子の健康の保持・増進

| | | | | | | | |
|---|------------------------------|------------------|---|------|------|--------|--------|
| ・妊産婦乳幼児健康診査事業 《健康増進課》 ・母子相談事業 《健康増進課》 ・母子訪問指導事業 《健康増進課》 [5事業] | ①：妊娠・出産の支援に満足している人の割合 【%】 | 63.7 (H25国実績) | — | 67.0 | 89.5 | 70.0以上 | 90.0以上 |
| | | | — | 89.5 | 89.8 | 91.2 | |

(3) 待機児童の解消と子育て支援の充実

ア 保育施設・放課後児童会の拡充

| | | | | | | | |
|--|------------------------|------------------|-----|-----|-----|-----|---|
| ・私立保育所等助成事業 《幼児教育・保育課》 ・放課後児童会健全育成事業 《教育総務課》 [2事業] | ①：保育所など利用待機児童数 【人】 | 407 (H27.4.1) | 407 | 300 | 200 | 100 | 0 |
| | ②：放課後児童会利用待機児童数 【人】 | 311 (H27.5.1) | 407 | 214 | 168 | 97 | |
| | | | 758 | 503 | 226 | 95 | 0 |
| | | | 311 | 377 | 392 | 355 | |

イ 地域の子育て力の向上

| | | | | | | | |
|---------------------------------|----------------------------|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ・子育て家庭支援事業 《子育て支援課》 [1事業] | ①：地域子育て支援拠点延べ利用者数 【人/件】 | 326,663 (H26実績) | 367,000 | 383,000 | 383,000 | 383,000 | 383,000 |
| | | | 300,049 | 309,626 | 306,577 | 321,846 | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

★について

[(1) ア①]:平成31年3月現在で未確定。令和2年1月頃確定予定。

| ○ 基本的方向 | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|------------------|------------|------------|------------|------------|------|
| ◆ 施策 | | | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
| | | | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 目標値 |
| ウ 子育てに対する不安や負担の軽減 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者支援プラン推進事業 《次世代育成課》 ・こども保護対策事業 《子育て支援課》 ・子育て家庭支援事業 《子育て支援課》 ・社会的養護推進事業 《子育て支援課》 ・女性相談保護事業 《子育て支援課》 ・発達相談支援事業 《子育て支援課》 ・子育てワンストップサービス運用事業 《子育て支援課》 ・ひとり親家庭等支援事業 《子育て支援課》 ・家庭福祉支援事業 《子育て支援課》 ・交通遺児等基金積立金 《子育て支援課》 <p style="text-align: center;">[14 事業]</p> | ①：子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合 【%】 | 43.2 (H27 実績) | 43.2 | 45.0 | 47.0 | 48.0 | 50.0 |
| | | 43.2 | 39.7 | 51.6 | 47.3 | | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

Ⅱ - 2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成

| ○ 基本的方向 | | | | | | | | |
|--|---|---------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| ◆ 施策 | | | | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | |
| | | | (2015) | (2016) | (2017) | (2018) | (2019) | |
| | | | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 目標値 |
| | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| (1) 第2・第3のノーベル賞受賞者の育成 | | | | | | | | |
| ア 子どもの才能を伸ばす特別課外講座の充実 | | | | | | | | |
| ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 [1事業] | ①：全国レベルのコンテスト入賞者数(累計) 【人】 | 4 (H25実績) | 5 | 7 | 9 | 12 | 15 | |
| | | | 6 | 6 | 11 | 14 | | |
| イ 子どもの興味を引き出す機会の充実 | | | | | | | | |
| ・図書館運営事業 《中央図書館》 ・生涯学習施設運営事業 《創造都市・文化振興課》 [4事業] | ①：生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合 【%】 | 30.7 (H27実績) | 30.7 | 31.5 | 32.0 | 32.5 | 33.0 | |
| | | | 30.7 | 36.2 | 27.1 | 32.3 | | |
| (2) 地域力を活かした市民総がかりのひとづくり | | | | | | | | |
| ア 地域・保護者・学校の連携による学校づくり | | | | | | | | |
| ・コミュニティ・スクール推進事業 《教育総務課》 ・はままつ人づくりネットワーク推進事業 《教育総務課》 [8事業] | ①：コミュニティ・スクール推進モデル校実施数 【校】 | 新規 (H26実績) | 0 | 4 | 8 | 15 | 24 | |
| | | | 0 | 4 | 8 | 17 | | |
| | ②：保護者や地域の人ボランティアや外部講師として支援する授業の実施率 【%】 | 48.0 (H27速報値) | 48.0 | 55.0 | 60.0 | 65.0 | 80.0 | |
| 49.5 | | | 54.7 | 46.7 | 85.4 | | | |
| イ 地域愛をはぐくむ教育の実践 | | | | | | | | |
| ・学校特色化推進事業 《指導課》 [2事業] | ①：自分のふるさどが好きだと答える子どもの割合 【%】 | 小学生 93.9 中学生 93.1 (H27.4) | 小学生 | 小学生 | 小学生 | 小学生 | 小学生 | 小学生 |
| | | | 95.0 | 97.0 | 97.0 | 97.0 | 100.0 | |
| | | | 中学生 | 中学生 | 中学生 | 中学生 | 中学生 | |
| 小学生 | 中学生 | 94.0 | 98.0 | 98.0 | 98.0 | 98.0 | 100.0 | |
| | | | 小学生 | 小学生 | 小学生 | 小学生 | 小学生 | |
| 94.9 | 95.0 | 97.6 | 96.6 | | | | | |
| 中学生 | 中学生 | 95.7 | 96.0 | 97.0 | 95.6 | | | |
| ウ 子どもの個性に応じた支援体制の整備 | | | | | | | | |
| ・生徒指導事業 《指導課》 ・多文化共生推進事業 《国際課》 [7事業] | ①：自分にはよいところがあると思う子どもの割合 【%】 | 小学生 82.2 中学生 74.2 (H27.4) | 75.0 | 79.0 | 80.0 | 80.0 | 82.0 | |
| | | | 小学生 | 小学生 | 小学生 | 小学生 | 小学生 | |
| | 82.2 | 83.0 | 83.2 | 83.4 | | | | |
| 中学生 | 中学生 | 74.2 | 75.0 | 75.5 | 80.3 | | | |
| ②：外国人の子どもの不 就学 【人】 | ゼロ達成 (H25実績) | ゼロ維持 | ゼロ維持 | ゼロ維持 | ゼロ維持 | ゼロ維持 | | |
| | | 2 | 2 | 4 | 2 | | | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

Ⅲ-1 安全・安心なまちづくり

| ○ 基本的方向 | | | | | | | |
|--|--|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| ◆ 施策 | | | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 (2015) | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | R1 (2019) |
| | | | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 目標値 |
| (1) 災害に強いまちづくりの推進 | | | | | | | |
| ア 防潮堤の早期実現 | | | | | | | |
| ・防災計画等整備事業 《危機管理課》 [1事業] | ①：防潮堤の完成 【進捗率%】 | 5.0 (H26実績) | 32 | 32 | 59 | 72 | 100.0 |
| | | | 20 | 37 | 50 | 59 | |
| イ 地域防災の推進 | | | | | | | |
| ・防災計画等整備事業 《危機管理課》 ・防災施設・資機材管理事業 《危機管理課》 ・防災学習施設整備事業 《危機管理課》 ・橋りょう耐震補強事業 《道路保全課》 ・浸水対策支援事業 《河川課》 ・急傾斜対策事業 《河川課》 [23事業] | ①：自分の生命と財産は 自分で守らなくてはならない と思う人の割合 【%】 | 76.4 (H26実績) | 77.0 | 78.0 | 79.0 | 79.0 | 80.0 |
| | | | 77.5 | 78.6 | 76.5 | 77.1 | |
| | ②：緊急輸送路上の橋り ょう耐震対策実施率 【%】 | 68.0 (H27.3月末) | 83.0 | 91.0 | 92.0 | 100.0 | 100.0 |
| | | | 74.0 | 83.0 | 86.0 | 88.0 | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

Ⅲ-2 にぎわいの創出

○ 基本的方向

◆ 施策

| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | (2015) | (2016) | (2017) | (2018) | (2019) |
| | | | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 目標値 |
| | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |

(1) 創造都市の推進

ア 多様な音楽に触れる機会の創出

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------|------------------|------|------|------|------|------|
| ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 ・音楽文化発信・交流事業 《創造都市・文化振興課》 [3事業] | ①：音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度 【%】 | 35.9 (H27 実績) | 34.0 | 36.0 | 37.0 | 37.0 | 38.0 |
| | | | 35.9 | 40.8 | 34.6 | 38.0 | |

(2) 浜松・浜名湖ブランドの確立による交流人口の拡大

ア ブランドの確立

| | | | | | | | |
|--|----------------------------------|----------------|----|----|----|----|----|
| ・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》 [1事業] | ①：市区町村別認知度 ランキング(全国順位) 【位】 | 25 (H26 実績) | 23 | 21 | 20 | 17 | 15 |
| | | | 25 | 27 | 30 | 47 | |
| | ②：市区町村別認知度 ランキング(県内順位) 【位】 | 2 (H26 実績) | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 |
| | | | 2 | 2 | 2 | 3 | |

イ 国内外からの交流人口の拡大

| | | | | | | | |
|---|------------------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ・観光客誘致事業 《観光・シティプロモーション課》 ・海外戦略推進事業 《観光・シティプロモーション課》 ・観光宣伝事業 《観光・シティプロモーション課》 ・館山寺総合公園運営事業 《緑政課》 [19事業] | ①：観光交流客数 【千人/年】 | 18,524 (H26 実績) | 19,400 | 20,400 | 21,000 | 22,330 | 23,700 |
| | | | 18,276 | 19,620 | 21,357 | ★ | |
| | ②：外国人延べ宿泊者数 【千人泊/年】 | 279 (H26 実績) | 215 | 236 | 257 | 350 | 360 |
| | | | 370 | 333 | 304 | ★ | |

(3) 地域の特性を活かした魅力づくり

ア まちなかのにぎわい創出

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ・中心市街地活性化施策 調査研究事業 《産業振興課》 ・市街地再開発組合支援 事業 《市街地整備課》 [7事業] | ①：歩行者通行量(休日・主要8地点) 【人】 | 99,392 (H26 実績) | 101,380 | 103,360 | 105,340 | 107,320 | 109,300 |
| | | | 90,313 | 90,958 | 105,102 | 102,049 | |
| | ②：都心の居住人口 【人】 | 11,359 (H26 実績) | 11,700 | 12,060 | 12,410 | 12,750 | 13,100 |
| | | | 11,614 | 11,707 | 11,670 | 11,822 | |

イ 中山間地域のにぎわい創出

| | | | | | | | |
|---|--------------------------------------|----------------|----|----|----|----|----|
| ・生活支援事業 《市民協働・地域政策課》 ・居住促進事業 《市民協働・地域政策課》 [5事業] | ①：遊休施設を利用して事業を実施している民間企業などの数 【団体】 | 5 (H26 実績) | 5 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| | | | 5 | 8 | 10 | 8 | |
| | ②：市の制度を利用して移住した人数 【人】 | 13 (H26 実績) | 15 | 15 | 17 | 19 | 30 |
| | | | 19 | 15 | 29 | 27 | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

★について

[(2) ①]:平成31年3月現在で未確定。令和元年10月頃確定予定。

[(2) ②]:平成31年3月現在で未確定。令和元年8月頃確定予定。

Ⅲ-3 支えあいによる地域社会の形成

| ○ 基本的方向 | | | | | | | |
|---|--|--------------------------------|----------------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|--------------------|
| ◆ 施策 | | | | | | | |
| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
| | | | (2015) | (2016) | (2017) | (2018) | (2019) |
| | | | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 計画値 | 目標値 |
| | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| (1) 次世代を見据えた地域コミュニティの形成 | | | | | | | |
| ア 市民協働のまちづくりの推進 | | | | | | | |
| ・市民協働推進事業 《市民協働・地域政策課》 ・安全で安心なまちづくり支援 事業 《市民生活課》 [9事業] | ①：所轄 NPO 法人の総 事業費 【億円】 | 35.7 (H26 実績) | 35.7 | 35.8 | 36.0 | 36.1 | 37.0 |
| | | | 36.9 | 36.6 | 36.4 | 38.4 | |
| | ②：市民参加による「地 区安全会議」の団体数 【団体】 | 50 (H26 末) | 52 | 55 | 55 | 57 | 66 |
| | | | 52 | 52 | 54 | 55 | |
| イ 多文化共生による市民主体の地域社会の形成 | | | | | | | |
| ・多文化共生推進事業 《国際課》 ・国際交流連携推進事業 《国際課》 [2事業] | ①：近隣の日本人市民 とのつきあいがあると答える 外国人市民の割合 【%】 | 85.2 (H26 実績) | — | — | — | 90.0 | — |
| | | | — | — | — | 75.0 | |
| | ②：近隣の外国人市民 とのつきあいがあると答える 日本人市民の割合 【%】 | 36.8 (H26 実績) | — | — | — | 40.0 | — |
| | | | — | — | — | 38.2 | |
| (2) 人と人とのつながりをつくる社会の実現 | | | | | | | |
| ア 医療・介護・予防・住まい・生活支援など切れ目ないサービス提供 | | | | | | | |
| ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 ・老人福祉施設整備費助成 事業 《高齢者福祉課》 [4事業] | ①：特別養護老人ホー ムの待機者(在宅重度) 【人】 | 398 (H26.8.1) | 266 | 177 | 89 | 0 | 0 |
| | | | 409 | 308 | 326 | 260 | |
| | ②：浜松市ささえあいポイ ント事業のボランティア登録 人数 【人】 | 1,289 (H26 末) | 1,930 | 2,800 | 3,000 | 3,800 | 4,400 |
| | | | 2,520 | 2,860 | 3,335 | 3,849 | |
| (3) 政令指定都市トップの健康寿命の延伸 | | | | | | | |
| ア 一人ひとりが健康づくりに取り組みやすい環境整備 | | | | | | | |
| ・健康づくり推進事業 《健康増進課》 ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 [3事業] | ①：健康寿命 【歳】 | 男 72.98 女 75.94 (H22 実績) | 男 73.08 女 76.04 未公表 (国) | 男 73.18 女 76.14 男 73.19 女 76.19 | 男 73.28 女 76.24 未公表 (国) | 男 73.38 女 76.34 未公表 (国) | 男 73.48 女 76.44 |
| | | | | | | | |
| | ②：ロコモーショントレニ ングの参加者数 【人】 | 525 (H26 実績) | 2,500 | 5,000 | 10,000 | 12,500 | 15,000 |
| | | | 2,639 | 5,667 | 10,145 | 14,438 | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

Ⅲ-4 コンパクトでメリハリの効いたまちづくり

○ 基本的方向

◆ 施策

| ・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数] | 指標№：重要業績評価 指標(KPI) 【単位】 | 基準値 (時点) | H27 (2015) | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | R1 (2019) |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| | | | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 計画値 実績値 | 目標値 |

(1) 拠点ネットワーク型都市構造の形成

ア 集約型の都市づくり

| | | | | | | | |
|--|---------------------------------|----|----|----|----|-----|-----|
| ・都市計画策定事業 《都市計画課》 ・高竜地区公共団地区画整理事業 《市街地整備課》 ・高塚駅北公共団地区画整理事業 《市街地整備課》 ・組合等区画整理支援事業 《市街地整備課》 [10事業] | ①：立地適正化計画策定の進捗率 【%】 | 新規 | 35 | 60 | 90 | 100 | 100 |
| | | | 35 | 60 | 90 | 100 | |
| | ②：居住関連施設の立地誘導を図る用途地域の変更 【ha】 | 新規 | 10 | 22 | 22 | 22 | 22 |
| | | | 10 | 22 | 22 | 22 | |

イ 拠点を結ぶ交通ネットワークの形成

| | | | | | | | | |
|--|--------------------------------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------|-------------------|
| ・交通計画推進事業 《交通政策課》 ・公共交通推進事業 《交通政策課》 ・上島駅周辺公共団地区画整理事業 《市街地整備課》 ・高竜地区公共団地区画整理事業 《市街地整備課》 ・都市計画道路整備事業 《道路企画課》 ・天竜川駅周辺整備事業 《道路企画課》 [7事業] | ①：市街地における交通の円滑化(平均旅行速度の向上) 【km/h】 | 26 (H26実績) | 26 | 26 | 26 | 26 | 30 | |
| | | | 26 | 25 | 25 | 26 | | |
| | ②：主要な駅、バス停の利用者 【千人】 | 約27,200 (H25実績) | 約27,200 | 約27,200 | 約27,200 | 約27,200 | 約27,200 | 利用者の維持(約27,200千人) |
| | | | 27,017 (H26実績) | 27,575 (H27実績) | 27,632 (H28実績) | 27,848 (H29実績) | | |

(2) 効果的・効率的な市民サービスの提供

ア 持続可能な市民サービス提供体制の構築

| | | | | | | | | |
|---|---------------------------|---|--------|---|---|--|--|--|
| ・アセットマネジメント推進事業 《アセットマネジメント推進課》 ・人事管理運営経費 《人事課》 [7事業] | ①：総人件費の削減 【百万円】 | 56,644 (H25実績) | 55,559 | 54,772 | 53,840 | 53,551 | 52,399 | |
| | | | 55,116 | 54,622 | 54,070 | ★ | | |
| | ②：ハコモノ資産・インフラ資産充足率 【%】 | ハコモノ資産 64.1 インフラ資産 52.7 (H27.4.1) | 計画策定 | ハコモノ 資産 65.0 インフラ 資産 54.0 | ハコモノ 資産 66.0 インフラ 資産 56.0 | ハコモノ 資産 68.0 インフラ 資産 58.0 | ハコモノ 資産 70.0 インフラ 資産 60.0 | |
| | | | 計画策定 | ハコモノ 資産 61.2、 インフラ 資産 60.5 | ハコモノ 資産 68.3、 インフラ 資産 70.7 | ★ | | |

イ 広域連携の推進

| | | | | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|----|---|----|----|----|----|
| ・広域行政推進事業 《企画課》 [1事業] | ①：三遠南信地域における新規連携施策数 【件】 | 新規 | 2 | 4 | 6 | 16 | 24 |
| | | | 4 | 11 | 15 | 21 | |

表中、下線表記があるものは累計を示す。

★について

[(2) ア①]:平成31年3月現在で未確定。令和元年8月頃確定予定。

[(2) ア②]:平成31年3月現在で未確定。令和元年9月頃確定予定。

IV 重点戦略



| | |
|------------------------|--------|
| 1 オール浜松で地域産業を盛り上げる | (P.65) |
| 2 子育てから教育まで 続「こども第一主義」 | (P.71) |
| 3 実感！ 健康寿命日本一 | (P.76) |
| 4 きれいな浜松をいつまでも | (P.79) |
| 5 安全・安心で強靱な日本一暮らしやすいまち | (P.82) |
| 6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり | (P.86) |
| 7 持続可能な都市経営の推進 | (P.90) |

重点戦略「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

| ○テーマ | | | | | |
|--------------------------------|---|-----------------------------|------------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ① 既存産業の持続的発展・高度化と新産業の創出 | | | | | |
| 1 | 既存中小企業の経営体質の強化 | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 粗付加価値額【従業員4人以上の事業所】(千円) | 77,539 (H29速報) | 92,953 | 98,642 |
| | ・中小企業金融支援事業 《産業総務課》 | 新規融資額(千円) | 1,349,860 (H30実績) | 1,500,000 | 1,500,000 |
| 2 | 成長産業分野の高度化・高付加価値化の推進 | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 新技術・新製品開発などの事業化件数(件) | 48 (H30実績) | 35 | 35 |
| 3 | 中小企業振興基本条例の施行を契機とした事業継続・承継の支援 | | | | |
| | ・中小企業活性化支援事業 《産業総務課》 | 事業承継相談の件数(累計)(件) | 18 (H30実績) | 50 | 200 |
| 4 | 中小企業の固有技術を生かした次世代自動車産業の活性化 | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 電動化への取組社数(社) | 7 (H30実績) | 10 | 10 |
| 5 | 「光・電子技術を活用した未来創生ビジョン」の実現 | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 産学官金連携による新事業プロジェクト件数(件) | 5 (H30実績) | 5 | 5 |
| 6 | 中小企業の海外進出と海外販路開拓支援 | | | | |
| | ・海外ビジネス展開支援事業 《産業振興課》 | 見本市出展企業の成約件数(件) | 31 (H30実績) | 25 | 40 |
| ② 「浜松バレー」構想の実現(ベンチャー支援) | | | | | |
| 7 | 次代を担う起業家の育成(法人の開業数を2022年度までの4年間で3,400件とする。) | | | | |
| | ・創業支援事業 《産業振興課》 | 法人開業件数(累計)(件) | 850 (H20~H29平均年度実績) | 850 | 3,400 |
| 8 | ベンチャー企業に投資しやすい環境の整備 | | | | |
| | ・創業支援事業 《産業振興課》 | 市内企業に対するベンチャーキャピタルの投資額(百万円) | (R1新規事業) | 190 | 190 |
| 9 | IT人材の育成支援 | | | | |
| | ・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》 | 受講生と企業のマッチング成功件数(件) | 33 (H30実績) | 20 | 事業終了 |
| 10 | 首都圏等からのベンチャー企業誘致による新たな産業の活性化 | | | | |
| | ・首都圏ビジネス情報センター事業 《産業振興課》 | 企業、大学等の訪問件数(件) | 343 (H28~H30平均年度実績) | 350 | 350 |
| ③ ポテンシャルを活かした企業誘致の推進 | | | | | |
| 11 | 新たな大規模工場用地の整備 | | | | |
| | ・新・産業集積エリア整備事業(工場用地開発事業) 《企業立地推進課》 | 分譲面積に占める売却済み面積の割合(%) | 36 (H30実績) | 88 | 100 |
| | | 工場用地開発面積(累計)(ha) | 15 (H25~H29平均年度実績) | 15 | 60 |
| 12 | トップセールスや立地支援による戦略的な企業誘致により2022年度までの4年間で80件を新規立地 | | | | |
| | ・企業立地推進事業 《企業立地推進課》 | 企業立地決定件数(累計)(件) | 96 (H30実績) | 116 | 176 |
| 13 | 企業誘致による雇用の拡大と税収増、新たなサプライチェーンの構築 | | | | |
| | ・企業立地推進事業 《企業立地推進課》 | 立地企業の新規雇用人数(累計)(人) | 150 (H25~H29平均年度実績) | 150 | 600 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

| ○テーマ | | | | | |
|-----------------------------|---|---|-------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ④ 多様な人材が活躍できる雇用環境の整備 | | | | | |
| 14 | 女性、障がい者等多様な人材の就労支援 | | | | |
| | ・雇用促進事業 《産業総務課》 | 女性就労支援事業に係る セミナー等参加者の就業率 (%) | 41 (H30実績) | 50 | 50 |
| 15 | Uターン就職の支援 | | | | |
| | ・雇用促進事業 《産業総務課》 | マッチングアドバイザー派遣事業 に係る内定者数(人) | 39 (H30実績) | 40 | 43 |
| 16 | 外国人留学生のインターンシップコーディネートの実施 | | | | |
| | ・雇用促進事業 《産業総務課》 | インターンシップコーディネート事 業に係る外国人留学生のイン ターンシップフェア参加者数(人) | 32 (H30実績) | 35 | 38 |
| 17 | 障がい者を含む誰もが参画できるユニバーサル農業の推進 | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | ユニバーサル農業シンポジウム参 加者数(累計)(人) | 70 (H30実績) | 170 | 470 |
| 18 | 仕事と生活の調和がとれる職場環境づくりの支援 | | | | |
| | ・ワーク・ライフ・バランス推進事業 《UD・男女共同参画課》 | ワーク・ライフ・バランス等アドバイ ザー派遣事業所数(社) | 5社 (H30実績) | 7 | 8 |
| ⑤ 「70歳現役都市・浜松」の推進 | | | | | |
| 19 | 高齢者継続雇用の促進 | | | | |
| | ・雇用促進事業 《産業総務課》 | 高齢者活躍宣言事業所認定 事業に係る認定事業所数(件) | (R1新規事業) | 30 | 45 |
| 20 | シルバー人材センターとの連携強化 | | | | |
| | ・シルバー人材センター支援事業 《高齢者福祉課》 | シルバー人材センター会員数 (人) | 4,519 (H30実績) | 4,500 | 4,500 |
| | | 会員の就業率(%) | 79.5 (H29実績) | 80 | 80 |
| 21 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活用と健康づくりの普及推進 | | | | |
| | ・市民いきいきトレーナー活用事業 《健康増進課》 | 市民いきいきトレーナー登録数 (人) | (R1新規事業) | 130 | 190 |
| 22 | 自宅等で簡単にできる軽い運動「ロコモーショントレーニング」の普及拡大 | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | ロコモーショントレーニング実参加 者数(人) | 10,145 (H29実績) | 15,000 | 17,400 |
| 23 | ボランティア活動や介護予防活動を行った人に対してポイントを付与する「ささえあいポイント事業」の普及推進 | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | ささえあいポイント事業登録者 数(人) | 3,335 (H29実績) | 4,400 | 6,200 |
| 24 | シニアクラブによる地域づくり活動の支援 | | | | |
| | ・シニアクラブ支援事業 《高齢者福祉課》 | シニアクラブ加入者率(%) | 8.6 (H30実績) | 10 | 10 |
| | | シルバーサポーター派遣回数 (回) | 116 (H30実績) | 170 | 179 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

| ○テーマ | | | | | |
|----------------------------------|---|--|-------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| 25 | アクティブ・シニア講座※の充実 | | | | |
| | ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 | アクティブ・シニア講座※受講者数(人) | (R1新規事業) | 12,000 | 12,600 |
| | | ※アクティブ・シニア講座: 地域の人々の生きがいづくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、現代的課題についての学習機会を提供するもの。 | | | |
| 26 | 高齢者に対する情報提供や相談窓口の設置 | | | | |
| | ・地域福祉推進事業 《福祉総務課》 | 相談窓口における高齢者の「いきがい相談」に関する相談件数(件) | (R1新規事業) | 50 | 125 |
| ⑥ 創造都市・浜松の顔づくり(中心市街地の活性化) | | | | | |
| 27 | 市民文化創造拠点施設整備の推進 | | | | |
| | ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 | 調査・検討 | 旧元城小解体 (H30実績) | 発掘調査 | 発掘調査 |
| | | R1～ 元城小学校跡地埋蔵文化財発掘調査 R5～R6 整備の在り方検討 | | | |
| 28 | ITやクリエイティブ産業などの都市型産業の集積と雇用創出 | | | | |
| | ・都心機能集積支援事業 《産業振興課》 | オフィス開設費用助成件数(件) | 4 (H30実績) | 3 | 3 |
| 29 | 都心への居住促進 | | | | |
| | ・市街地再開発組合支援事業 《市街地整備課》 | 旭・板屋A地区の進捗率(%) | 57.7 (H30実績) | 100 | 100 |
| 30 | リノベーション(再生事業)による空き店舗などの再生と活性化 | | | | |
| | ・都市機能更新促進事業 《市街地整備課》 | リノベーションスクールの検討戸数(戸) | 16 (H30実績) | 19 | 28 |
| 31 | 新川モール等の公共空間及び遊休不動産の利活用による賑わいと憩い空間の創出 | | | | |
| | ・都心機能集積支援事業 《産業振興課》 | 新川モール整備進捗率(%) | 0 (H30実績) | 25 | 100 |
| 32 | 安全安心な通行を妨げる繁華街の客引き行為等の対策のための条例を2020年4月施行に向け制定 | | | | |
| | ・市民安全対策事業 《市民生活課》 | 客引き行為等※の禁止区域内で客引き行為等をする者の人数(人) | 64人 (H30調査結果) | — | 25 |
| | | ※客引き行為等: 公共の場所(道路、公園など)で行われる「客引き行為・客待ち行為・勧誘行為・勧誘待ち行為」のこと。 | | | |
| | ・都市機能更新促進事業 《市街地整備課》 | リノベーションスクールの検討戸数(戸) | 16 (H30実績) | 19 | 28 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

| ○テーマ | | | | | |
|--|---|--------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑦ 浜名湖を核とした観光地域づくりの推進 | | | | | |
| 33 | 官民連携による浜名湖観光圏の整備推進 | | | | |
| | ・観光客誘致事業 《観光・シティプロモーション課》 | 観光交流客数(千人) | 21,357 (H29実績) | 23,700 | 27,400 |
| 34 | 世界水準を目指すDMO(Destination Management Organization)の体制強化 | | | | |
| | ・浜松・浜名湖DMO形成支援事業 《観光・シティプロモーション課》 | 一人当たり旅行消費額(円) | 16,189 (H29実績) | 23,200 | 34,000 |
| 35 | 浜名湖周遊ルート等自転車走行空間の整備 | | | | |
| | ・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》 | 自転車走行空間等整備率 (%) | 45 (H30実績) | 70 | 80 |
| R1～R4: 自転車走行空間整備工事 | | | | | |
| ⑧ 訪日外国人観光客の誘致強化 | | | | | |
| 36 | 東アジア及びASEANからのインバウンドの拡大 | | | | |
| | ・海外戦略推進事業 《観光・シティプロモーション課》 | 外国人宿泊客数(千人) | 332 (H30実績) | 360 | 390 |
| 37 | 欧米豪など新市場の開拓 | | | | |
| | ・海外戦略推進事業 《観光・シティプロモーション課》 | 欧米豪からの外国人宿泊客数 (千人) | 33 (H30実績) | 36 | 39 |
| 38 | 国際会議の誘致強化 | | | | |
| | ・MICE推進事業 《観光・シティプロモーション課》 | 国際会議等誘致件数(件) | 5 (H30実績) | 5 | 5 |
| 39 | 「農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN)※」の活用 | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 農林漁業体験プログラム数 (件) | 39 (H30実績) | 57 | 66 |
| ※農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN): 地域の食と、それを生み出す農林水産業を核として訪日外国人を中心とした観光客の誘致を図る地域での取組。 | | | | | |
| 40 | 世界の創造都市と連携した響きの創造プロジェクト(2020文化プログラム)の推進 | | | | |
| | ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 | イベント参加者数(人) | 1,593 (H30実績) | 5,000 | — |
| 41 | 大規模スポーツ大会、スポーツイベント、合宿誘致の推進 | | | | |
| | ・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》 | 事前合宿、スポーツイベント等 誘致数(件) | 10 (H30実績) | 10 | 11 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

| ○テーマ | | | | | |
|---------------------------|--|---------------------------------|------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑨ 戦略的シティプロモーションの推進 | | | | | |
| 42 | 多様な企業や人材、媒体などをフル活用した創造的かつ戦略的なシティプロモーションの推進 | | | | |
| | ・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》 | 浜松市の魅力度(位) | 55 (H30実績) | 42 | 36 |
| 43 | 家康公浜松城築城450年(2020年)を活用した「出世の街 浜松」の全国発信 | | | | |
| | ・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》 | 浜松市の魅力度(位) | 55 (H30実績) | 42 | 36 |
| 44 | 映画、テレビ、CMなどのフィルムコミッションの推進 | | | | |
| | ・観光宣伝事業 《観光・シティプロモーション課》 | 撮影支援件数(件) | 182 (H30実績) | 190 | 214 |
| ⑩ もうかる農業の実現 | | | | | |
| 45 | 浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を核とした地産地消・ブランド化の推進 | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 浜松パワーフード宣言・応援宣言認定事業者(累計)(事業者) | 60 (H30実績) | 100 | 400 |
| 46 | 農業経営意識の醸成と他分野との連携促進 | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 浜松市未来を拓く農林業業育成事業費補助金申請件数(累計)(件) | 74 (H30実績) | 100 | 160 |
| 47 | 認定農業者及び認定新規就農者の育成支援と生産力の強化 | | | | |
| | ・担い手育成支援事業 《農業振興課》 | 認定農業者及び認定新規就農者の新規認定件数(経営体) | 46 (H30実績) | 86 | 206 |
| 48 | 農業用水利施設の長寿命化と耐震対策 | | | | |
| | ・国・県施行事業(負担金) 《農地整備課》 | 農業用水利施設の長寿命化・耐震対策実施箇所数(箇所) | 12/39 (H30実績) | 21/39 | 24/39 |
| 49 | 農地の集積・集約など安定した農地確保の支援 | | | | |
| | ・農地の確保と有効利用事業 《農地利用課》 | 担い手への農地集積率(%) | 31 (H30実績) | 38 | 47 |
| | ・優良農地の確保推進事業 《農業委員会事務局》 | 農地の貸し借り面積(ha) | 1,469 (H30実績) | 1,550 | 1,700 |
| 50 | 1億円以上を稼ぐ経営体を2022年度までに80経営体育成 | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 売上1億円以上の経営体 | 44 (H27実績) | 64 | 80 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

| ○テーマ | | | | | |
|--------------------------------------|--|-------------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑪ 天竜材を世界にセールス ブランド力の強化と流通拡大 | | | | | |
| 51 | 東京オリパラ関係施設をはじめとする天竜材の地産外商 | | | | |
| | ・木材需要拡大事業 《林業振興課》 | FSC認証材生産量(m ³ /年) | 75,976 (H29実績) | 103,000 | 127,000 |
| 52 | FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林経営 | | | | |
| | ・森林管理事業 《林業振興課》 | FSC森林認証面積(ha) | 45,270 (H30実績) | 45,500 | 47,000 |
| 53 | 市が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐ「新たな森林管理システム」の円滑な運用 | | | | |
| | ・森林経営管理推進事業 《林業振興課》 | 森林経営計画 累計認定面積(ha) | 16,516 (H29実績) | 18,400 | 22,000 |
| 54 | 森林環境譲与税(仮称)を活用した大都市圏での天竜材利用促進など都市間連携の推進 | | | | |
| | ・木材需要拡大事業 《林業振興課》 | 連携数(都市・団体) | 3 (H30実績) | 4 | 5 |
| ⑫ 遠州灘から浜名湖まで 多彩な水産資源で元気な漁業の実現 | | | | | |
| 55 | 県営舞坂漁港の機能保全等と市営村楡漁港の施設整備 | | | | |
| | ・漁港管理事業 《農業水産課》 | 村楡漁港整備進捗率(%) | 90 (H30実績) | 93 | 100 |
| 56 | 持続可能な水産業に向けた養殖業等の振興 | | | | |
| | ・水産業振興事業 《農業水産課》 | 水産業協同組合の年間取扱高(百万円) | 7,142 (H29実績) | 8,704 | 8,932 |
| 57 | 浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を核とした地産地消・ブランド化の推進(再掲) | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 浜松パワーフード宣言・応援宣言認定事業者(累計)(事業者) | 60 (H30実績) | 100 | 400 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

| ○テーマ | | | | | |
|------------------------|---------------------------------------|--|---------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ① 待機児童の解消 | | | | | |
| 58 | 保育所等の定員を2022年度までの4年間で2,200人拡充 | | | | |
| | ・私立保育所等助成事業 《幼児教育・保育課》 | 保育施設※の定員増数(対H30比較累計)(人) | 15,108 (H30定員数) | 550 | <u>2,200</u> |
| | | ※保育施設:認定こども園、保育所、地域型保育事業 | | | |
| 59 | 放課後児童会の定員を2022年度までの4年間で1,200人拡充 | | | | |
| | ・放課後児童会健全育成事業 《教育総務課》 | 放課後児童会の定員増数(対H30比較累計)(人) | 6,299 (H30定員数) | 300 | <u>1200</u> |
| 60 | AIなどを活用した幼児教育・保育施設の利用等に関する情報提供サービスの充実 | | | | |
| | ・保育事業運営経費 《幼児教育・保育課》 | AIを活用した保育施設入所選考の検討 | 未導入 (H30状況) | 実証実験 | 導入 |
| 61 | 幼児教育・保育施設における保育環境の充実 | | | | |
| | ・市立保育所管理運営事業 《幼児教育・保育課》 | 施設長寿命化工事の実施(件) | 0 (H30実績) | 5 | <u>12</u> |
| | ・市立幼稚園施設整備事業 《幼児教育・保育課》 | 施設長寿命化工事の実施(件) | 3 (H30実績) | 6 | <u>13</u> |
| ② 相談・支援体制の充実・強化 | | | | | |
| 62 | 児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応の強化 | | | | |
| | ・児童保護事業 《児童相談所》 | 研修に参加した回数(回) | 36 (H30実績) | 38 | 42 |
| 63 | 家庭養育推進のための里親・ファミリーホームの充実 | | | | |
| | ・社会的養護推進事業 《児童相談所》 | 里親登録数(組) | 92 (H30実績) | 102 | 138 |
| 64 | 社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者への支援体制の充実 | | | | |
| | ・子ども・若者サポート事業 《次世代育成課》 | 若者相談支援窓口「わかば」新規相談の内、専門機関へつなげたり、傾聴・助言等により一定の解決に至った割合(%) | 84.7 (H27~H30平均) | 85 | 88 |
| 65 | 地域でささえ合い多世代が交流できる新たな子育て支援ひろばの設置 | | | | |
| | ・子育て家庭支援事業 《子育て支援課》 | 多世代交流している子育て支援ひろばの設置割合(%) | 80 (H30実績) | 80 | 90 |
| 66 | 教育に関する相談体制の充実 | | | | |
| | ・教育相談推進事業 《指導課》 | スクールカウンセラーの配置数(人工) | 64 (H30実績) | 66 | 69 |
| 67 | 教員以外の専門的人材の活用による「チーム学校」の体制整備 | | | | |
| | ・生徒指導推進事業 《指導課》 | スクールソーシャルワーカーの配置数(人工) | 12 (H30実績) | 12 | 15 |
| 68 | いじめ防止対策の強化 | | | | |
| | ・教育相談推進事業 《指導課》 | スクールカウンセラーの配置数(人工) | 64 (H30実績) | 66 | 69 |
| | ・生徒指導推進事業 《指導課》 | スクールソーシャルワーカーの配置数(人工) | 12 (H30実績) | 12 | 15 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

| ○テーマ | | | | | |
|----------------------|-------------------------------------|---|---------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ③ 仕事と子育ての両立支援 | | | | | |
| 69 | 保育所等の定員を2022年度までの4年間で2,200人拡充(再掲) | | | | |
| | ・私立保育所等助成事業 《幼児教育・保育課》 | 保育施設※の定員増数(対H30比較累計)(人) | 15,108 (H30定員数) | 550 | <u>2,200</u> |
| | | ※保育施設:認定こども園、保育所、地域型保育事業 | | | |
| 70 | 放課後児童会の定員を2022年度までの4年間で1,200人拡充(再掲) | | | | |
| | ・放課後児童会健全育成事業 《教育総務課》 | 放課後児童会の定員増数(対H30比較累計)(人) | 6,299 (H30定員数) | 300 | <u>1200</u> |
| 71 | 仕事と生活の調和がとれる職場環境づくりの支援(再掲) | | | | |
| | ・ワーク・ライフ・バランス推進事業 《UD・男女共同参画課》 | ワーク・ライフ・バランス等アドバイザー派遣事業所数(社) | 5 (H30実績) | 7 | 8 |
| 72 | ひとり親家庭等の自立支援の推進 | | | | |
| | ・ひとり親家庭等支援事業 《子育て支援課》 | 高等職業訓練促進給付金修了者の就職率(%) | 100 (H30実績) | 100 | 100 |
| 73 | こどもを産み育てやすい環境づくりに向けた産後ケア事業の推進 | | | | |
| | ・子育て家庭支援事業 《子育て支援課》 | 産後ケア事業利用者数(人) | H31.5頃確定 (H30実績) | 480 | 550 |
| ④ 市民協働による人づくり | | | | | |
| 74 | コミュニティ・スクールの推進 | | | | |
| | ・コミュニティ・スクール推進事業 《教育総務課》 | 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入校数(校) | 17 (H30実績) | 24 | 96 |
| 75 | 地域愛を育む教育の実践 | | | | |
| | ・やらまいか教育推進事業 《指導課》 | やらまいか教育推進事業を実施する学校数(累計)(校) | 30 (H30実績) | 50 | <u>110</u> |
| 76 | ITキッズプロジェクト※の充実 | | | | |
| | ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 | ITキッズプロジェクト※の対象拡充(対象) | 小3～中2 (H30実績) | 小3～中3 | 小3～中3 |
| | | ※ITキッズプロジェクト:体験型・実践型の課外講座の開催を通じ、こどもの科学に対する好奇心、探究心を高めるとともに、地域産業の発展に寄与する優れた技術者を育てるもの。 | | | |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

| ○テーマ | | | | | |
|--|--|-------------------------------|------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑤ 社会の変化に対応する学力の育成 | | | | | |
| 77 | キャリア教育※の推進 | | | | |
| | ・教育研究・指導事業 《指導課》 | 全校への計画訪問による指導 実施率(%) | 100 (H30実績) | 100 | 100 |
| ※キャリア教育:こども一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な力を育てることを通して、 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための教育。 | | | | | |
| 78 | プログラミング学習など情報化社会に対応した教育の充実 | | | | |
| | ・学校情報技術環境整備事業 《教育施設課》 | ICT支援員活用校率(%) | (R1新規事業) | 13 | 100 |
| 79 | ITキッズプロジェクト※の充実(再掲) | | | | |
| | ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 | ITキッズプロジェクト※の対象拡 充(対象) | 小3～中2 (H30実績) | 小3～中3 | 小3～中3 |
| ※ITキッズプロジェクト:体験型・実践型の課外講座の開催を通じ、こどもの科学に対する好奇心、 探究心を高めるとともに、地域産業の発展に寄与する優れた技術者を育てるもの。 | | | | | |
| 80 | 英語や多文化共生教育の充実 | | | | |
| | ・生きた英語力育成事業 《指導課》 | ALTの人数(人) | 50 (H30実績) | 60 | 62 |
| ⑥ 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進 | | | | | |
| 81 | 発達に課題のあるこどもたちや心身に障がいのあるこどもたちへのきめ細かな支援の推進 | | | | |
| | ・発達支援教育指導員等配置事業 《教職員課》 | 発達支援教室数(教室) | 87 (H30実績) | 92 | 107 |
| | ・発達支援教育推進事業 《指導課》 | 発達支援学級数(教室) | 286 (H30実績) | 321 | 380 |
| | ・市立幼稚園教育指導支援員配置 事業《幼児教育・保育課》 | 障がい児在籍学級キッズサポ ーターの配置数(人) | 133 (H30実績) | 130 | 130 |
| 82 | 不登校児童生徒への支援の充実 | | | | |
| | ・不登校児童支援推進事業 《指導課》 | 校内適応指導教室における児 童生徒の改善率(%) | 65 (H30実績) | 66 | 68 |
| 83 | 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦の推進 | | | | |
| | ・多文化共生推進事業 《国際課》 | 定住外国人の子どもの不就学 者数(人) | 2 (H30実績) | 0 | 0 |
| | ・外国人子ども教育支援推進事業 《指導課》 | 日本語指導を必要とする児童 生徒への支援達成率(%) | 99 (H30実績) | 100 | 100 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

| ○テーマ | | | | | |
|------------------------|-------------------------------|--|------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑦ 安全・安心な教育環境の構築 | | | | | |
| 84 | 学校施設の計画的な改修・更新 | | | | |
| | ・小学校建設事業、中学校建設事業 《教育施設課》 | 整備校数(校) | 2 (H30実績) | 2 | 2 |
| 85 | 小中学校普通教室へのエアコンを2020年度までに整備 | | | | |
| | ・学校施設整備事業 《教育施設課》 | 設置完了校率(%) | (R1新規事業) | 43 | 100 |
| 86 | こどもたちの見守り体制の強化 | | | | |
| | ・学校安全事業 《健康安全課》 | 見守りボランティアへの登録者数(人) | (R1新規事業) | 350 | 500 |
| 87 | 通学路整備の推進 | | | | |
| | ・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》 | 通学路整備要望対応率(%) | 60 (H29実績) | 60 | 60 |
| ⑧ 学びを支える教育環境づくり | | | | | |
| 88 | 学校における働き方改革の推進 | | | | |
| | ・教育総合計画推進事業 《教育総務課》 | 学校における働き方改革のための業務改善方針の策定 | 策定 (H30実績) | 運用 改訂 | 運用 |
| | ・教職員管理事業 《教職員課》 | 校務アシスタントの配置数(人) | 72 (H30実績) | 146 | 146 |
| | ・部活動等推進事業 《指導課》 | 部活動指導員の配置人数(人) | 21 (H30実績) | 40 | 46 |
| 89 | 指導員・支援員等の配置拡充 | | | | |
| | ・学校教育指導支援員配置事業 《教職員課》 | 配置数(人) | 281 (H30実績) | 257 | 272 |
| | ・理科支援員配置事業 《指導課》 | 理科支援員の活用率(%) | 100 (H30実績) | 100 | 100 |
| 90 | 学校給食費への公会計の導入 | | | | |
| | ・健康安全運営経費 《健康安全課》 | 公会計化導入に向けた進捗状況 | (R1新規事業) | 課題整理 ・制度設計 | — |
| 91 | 教職員の資質・能力の向上 | | | | |
| | ・教職員研修事業 《教育センター》 | 研修参加者の満足度(%) | 85 (H30実績) | 85 | 86 |
| 92 | 少人数指導の充実 | | | | |
| | ・教職員管理事業 《教職員課》 | はままつ式少人数学級※対応講師の必要な小学校への配置率(%) ※はままつ式少人数学級:小学校1・2年生を対象に、30人学級編制を実施。 | 100 (H30実績) | 100 | 100 |
| 93 | 幼稚園や保育所等における幼児教育・保育の質や機能性の向上 | | | | |
| | ・市立保育所管理運営事業 《幼児教育・保育課》 | 園内外職員研修の参加延人数(人) | 3,814 (H30実績) | 3,800 | 3,800 |
| | ・市立幼稚園教職員管理事業 《幼児教育・保育課》 | 園内外職員研修の参加延人数(人) | 5,960 (H30実績) | 5,900 | 5,900 |
| 94 | 幼児教育・保育の無償化への対応 | | | | |
| | ・私立保育所等助成事業ほか2件 《幼児教育・保育課》 | 国制度に基づく幼児教育・保育の無償化の実施 | 未実施 (H30状況) | 実施 (10月～) | 実施 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

| ○テーマ | | | | | |
|-------------------------|---------------------------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑨ 将来を担う高校生の育成・支援 | | | | | |
| 95 | 高校生世代への医療費助成を2019年10月より実施 | | | | |
| | ・家庭福祉支援事業 <<子育て支援課>> | 高校生世代医療費助成の実施 | (R1新規事業) | 実施 | 実施 |
| 96 | 高校生を対象とした講演の実施 | | | | |
| | ・政策調整事業 <<秘書課>> | 講演の実施高校数(校) | 11 (H30実績) | 15 | 13 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「3 実感！健康寿命日本一」

| ○テーマ | | | | | |
|-----------------------|---|---------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ① 在宅福祉・在宅医療の充実 | | | | | |
| 97 | 地域包括支援センターの相談支援体制の充実 | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | 地域包括支援センター総合相談件数(件) | 42,194 (H29実績) | 45,750 | 46,500 |
| 98 | 在宅医療・介護連携相談支援センターの充実 | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | 在宅医療・介護連携相談センター相談件数(件) | 369 (H29実績) | 960 | 980 |
| 99 | 認知症の本人・家族に対する支援の推進 | | | | |
| | ・認知症施策推進事業 《高齢者福祉課》 | 認知症サポーター養成人数(人) | 4,118 (H30実績) | 4,600 | 4,820 |
| 100 | 認知症対応型共同生活介護施設の床数を2022年度までの4年間で108床拡充 | | | | |
| | ・介護サービス提供基盤整備費助成事業(補助金) 《介護保険課》 | 認知症対応型共同生活介護施設の定員(人) | 1,221 (H30実績) | 1,257 | 1,329 |
| 101 | 人生の最終段階における医療・ケアの普及開発 | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | 市民・専門職に対する講演会・研修会の実施回数(回) | (R1新規事業) | 10 | 40 |
| ② 「健康都市・浜松」の展開 | | | | | |
| 102 | 食de元気応援店を2022年度までに300店に拡充 | | | | |
| | ・はままつ食de元気応援店事業 《健康増進課》 | 登録店舗数(店舗) | 243 (H30実績) | 258 | 300 |
| 103 | 健康増進団体を2022年度までに100団体認証 | | | | |
| | ・はままつ健康増進団体認証事業 《健康増進課》 | 認証団体数(団体) | 66 (H30実績) | 75 | 100 |
| 104 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活用と健康づくりの普及推進(再掲) | | | | |
| | ・市民いきいきトレーナー活用事業 《健康増進課》 | 市民いきいきトレーナー登録数(人) | (R1新規事業) | 130 | 190 |
| 105 | 健康づくりに関する情報発信の一元化 | | | | |
| | ・健康応援サイト運用事業 《健康増進課》 | 健康づくり情報更新数(件) | 100 (H30実績) | 150 | 210 |
| 106 | 地区社会福祉協議会の設立・活動推進 | | | | |
| | ・地域福祉推進事業 《福祉総務課》 | 地区社会福祉協議会の設置数(団体) | 54 (H30実績) | 58 | 58 |
| 107 | 地域ボランティアコーナーによる情報発信 | | | | |
| | ・地域福祉推進事業 《福祉総務課》 | 地域ボランティアコーナー開設数(か所) | 46 (H30実績) | 58 | 58 |
| 108 | 生涯にわたる歯と口の健康づくりの推進 | | | | |
| | ・歯科保健事業 《健康増進課》 | 定期的に歯科検診を受ける人の割合(%) | 47.5 (H30実績) | 48 | 50 |
| 109 | 市民の健康を支える浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を活用した食育の推進 | | | | |
| | ・もうかる農業推進事業 《農業水産課》 | 農水産業に係る食育体験の体験者数(累計・人) | (R1新規事業) | 250 | 1,000 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「3 実感！健康寿命日本一」

| ○テーマ | | | | | |
|------------------------|--|---|--|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ③ 医療体制の充実 | | | | | |
| 110 | 浜松医療センター新病院を2023年度中の開院に向け建設 | | | | |
| | ・浜松市病院事業(医療センター資本的支出)《病院管理課》 | 新病院整備率(%) | 2.5 (H30実績) | 2.5 | 35.6 |
| | | | H27～28:基本設計、H29～R2:実施設計、R2～5:新病院棟建設工事、R5～6:3号館・渡り廊下棟改修工事、R7～8:1・2号館解体工事、R8:渡り廊下棟増築・駐車場設置工事 | | |
| ④ 障害のある人への支援の充実 | | | | | |
| 111 | 相談支援体制の整備ときめ細かな相談支援の充実 | | | | |
| | ・障害者地域生活支援事業《障害保健福祉課》 | 委託相談支援事業所の再編(%) | (R1新規事業) | 50 | 100 |
| | | H31:プロポーザルによる事業者選定 H32:整備完了 | | | |
| 112 | 手話言語の推進に関する条例の推進 | | | | |
| | ・障害者地域生活支援事業《障害保健福祉課》 | 手話奉仕員養成講座受講者等(人) | (R1新規事業) | 150 | 600 |
| 113 | 措置入院者の退院後支援の実施 | | | | |
| | ・こころの健康づくり推進事業《障害保健福祉課》 | 措置入院を経て地域に退院した人のうち、計画に基づく支援を実施した人の割合(%) | (R1新規事業) | 25 | 40 |
| 114 | 障害者就労支援施設から一般就労への移行推進 | | | | |
| | ・障害者就労支援事業《障害保健福祉課》 | 障害者就労施設から一般就労への移行者数(人) | 148 (H29実績) | 159 | 204 |
| 115 | 地域生活への移行推進のためのグループホームの定員を2022年度までの4年間で100人拡充 | | | | |
| | ・障害者施設整備費助成事業(補助金)《障害保健福祉課》 | グループホームの定員(人) | 425(H30計画) 429(H30実績) | 450 | 525 |
| ⑤ 生涯スポーツの推進 | | | | | |
| 116 | ライフスタイルに応じた多様なスポーツ施策の展開 | | | | |
| | ・スポーツ施設運営事業《スポーツ振興課》 | 生涯スポーツ施設の利用者数(千人) | 5,601 (H29実績) | 5,600 | 5,600 |
| 117 | 次世代アスリートの育成 | | | | |
| | ・スポーツ普及・活性化事業《スポーツ振興課》 | 高校生以下の全国大会出場者数(人) | 868 (H30実績) | 870 | 888 |
| 118 | 東京オリパラを契機としたパラスポーツの推進 | | | | |
| | ・スポーツ普及・活性化事業《スポーツ振興課》 | パラスポーツ体験会等の実施日数(日) | 3 (H30実績) | 3 | 3 |
| 119 | eスポーツなど新たな概念の確立と普及推進 | | | | |
| | ・スポーツ普及・活性化事業《スポーツ振興課》 | eスポーツの普及 | — | 情報収集 | 検討 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「3 実感！健康寿命日本一」

| ○テーマ | | | | | |
|------------------------------|---|--|-------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑥ 多世代交流の推進 | | | | | |
| 120 | 老人福祉センターを子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」へ転換 | | | | |
| | ・高齢者施設運営事業 《高齢者福祉課》 | ふれあい交流センターへの転換 | (R1新規事業) | 事業者 選定 | — |
| | | R1: R2~4年度事業者の選定 R2: 転換、運営 ※R3年以降は利用者数を指標に設定予定 | | | |
| ⑦ 「70歳現役都市・浜松」の推進(再掲) | | | | | |
| 121 | 高齢者継続雇用の促進 | | | | |
| | ・雇用促進事業 《産業総務課》 | 高齢者活躍宣言事業所認定 事業に係る認定事業所数(件) | (R1新規事業) | 30 | 45 |
| 122 | シルバー人材センターとの連携強化 | | | | |
| | ・シルバー人材センター支援事業 《高齢者福祉課》 | シルバー人材センター会員数 (人) | 4,519 (H30実績) | 4,500 | 4,500 |
| | | 会員の就業率(%) | 79.5 (H29実績) | 80 | 80 |
| 123 | 地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活用と健康づくりの普及推進(再掲) | | | | |
| | ・市民いきいきトレーナー活用事業 《健康増進課》 | 市民いきいきトレーナー登録数 (人) | (R1新規事業) | 130 | 190 |
| 124 | 自宅等で簡単にできる軽い運動「ロコモーショントレーニング」の普及拡大 | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | ロコモーショントレーニング実参加 者数(人) | 10,145 (H29実績) | 15,000 | 17,400 |
| 125 | ボランティア活動や介護予防活動を行った人に対してポイントを付与する「ささえあいポイント事業」の普及推進 | | | | |
| | ・介護保険事業 《高齢者福祉課》 | ささえあいポイント事業登録者 数(人) | 3,335 (H29実績) | 4,400 | 6,200 |
| 126 | シニアクラブによる地域づくり活動の支援 | | | | |
| | ・シニアクラブ支援事業 《高齢者福祉課》 | シニアクラブ加入者率(%) | 8.6 (H30実績) | 10 | 10 |
| | | シルバーサポーター派遣回数 (回) | 116 (H30実績) | 170 | 179 |
| 127 | アクティブ・シニア講座※の充実 | | | | |
| | ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 | アクティブ・シニア講座※受講者 数(人) | (R1新規事業) | 12,000 | 12,600 |
| | | ※アクティブ・シニア講座: 地域の人々の生きがいづくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、現代的課題についての学習機会を提供するもの。 | | | |
| 128 | 高齢者に対する情報提供や相談窓口の設置 | | | | |
| | ・地域福祉推進事業 《福祉総務課》 | 相談窓口における高齢者の「い きがい相談」に関する相談件数 (件) | (R1新規事業) | 50 | 125 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「4 きれいな浜松をいつまでも」

| ○テーマ | | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|---|--------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ① ごみ減量天下取り大作戦の展開 | | | | | |
| 129 | 家庭系ごみ排出量を2020年度までに350g/人・日に削減 | | | | |
| | ・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》 | 一人1日あたりの家庭ごみ排出量(g) | 487 (H29実績) | 420 | 350(R2) |
| 130 | 生ごみ減量、雑がみ分別、食品ロス削減の推進 | | | | |
| | ・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》 | ごみの総排出量(t) | 257,122 (H29実績) | 248,724 | 243,071 |
| 131 | ごみ減量教育の推進 | | | | |
| | ・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》 | 学校連携事業 参加児童数(人) | (R1新規事業) | 22,000 | 26,000 |
| ② 環境にやさしい施設の効率的な運営・建設 | | | | | |
| 132 | 新清掃工場及び新破砕処理センターを2024年度の稼働に向け建設 | | | | |
| | ・新清掃工場整備事業 《廃棄物処理課》 | PFI事業(設計・建設)の進捗率(%) | 2 (H30実績) | 11 | 35 |
| | | H30～R3: 造成工事・アプローチ道路工事、R2～3: プラント設計、R3～5: プラント工事 | | | |
| | | 施設整備に係る環境影響評価事後調査の進捗率(%) | 9 (H30実績) | 26 | 75 |
| | | H30～R5: 環境調査・猛禽類モニタリング調査、H30～R3: 環境保全措置 | | | |
| | | 施設整備に係るモニタリング業務の進捗率(%) | 15 (H30実績) | 30 | 79 |
| | | H30～R3: 造成工事・アプローチ道路工事のモニタリング、R2～3: プラント設計のモニタリング、R3～5: プラント工事のモニタリング | | | |
| 133 | 西部清掃工場の更新事業計画を2022年度までに策定 | | | | |
| | ・西部清掃工場運営事業 《廃棄物処理課》 | 西部清掃工場の更新事業計画策定の進捗率(%) | (R1新規事業) | 5 | 100 |
| | | R1～2: 更新事業計画準備、R3～4: 同計画策定 | | | |
| ③ 生物多様性と生活環境の保全 | | | | | |
| 134 | 絶滅危惧種等希少生物の保護対策の推進 | | | | |
| | ・生物多様性保全事業 《環境政策課》 | ヤリタナゴ生息数(匹) | 64 (H28実績) | 64 | 64 |
| 135 | 特定外来生物による被害防止対策の推進 | | | | |
| | ・生物多様性保全事業 《環境政策課》 | クハリリス生息数(頭) | 10,000 (H30実績) | 12,000 | 9,400 |
| 136 | 佐鳴湖の水環境向上 | | | | |
| | ・水質保全事業 《環境保全課》 | 佐鳴湖地域協議会での行動計画の策定及び業務実施 | — | 次期計画策定 | 業務実施 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「4 きれいな浜松をいつまでも」

| ○テーマ | | | | | |
|-----------------------|---|--|--------------------|---------------------|------------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ④ 消費で社会貢献 | | | | | |
| 137 | フェアトレード※1及びエシカル消費※2の啓発促進 | | | | |
| | ・消費生活推進事業 《市民生活課(くらしのセンター)》 | フェアトレードに関する認知度 (%) | 45 (H30実績) | 50 | 60 |
| | | <small>※1 フェアトレード: 発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入し、途上国の生産者や労働者の生活改善や自立を目指す貿易のしくみ。 ※2 エシカル消費: より良い社会に向けた、人・社会・環境・地球に配慮した消費行動。例えば、価格が高くても無農薬の野菜を購入する、太陽光発電で作られた自然エネルギーを購入するなどの消費活動。</small> | | | |
| ⑤ 地球温暖化防止対策の推進 | | | | | |
| 138 | 地球温暖化対策のための国民運動クールチョイス※の普及 | | | | |
| | ・地球環境保全貢献事業 《環境政策課》 | 国民運動クールチョイス※への賛同数(累計)(人) | 7,354 (H30実績) | 9,500 | 12,500 |
| | | <small>※クールチョイス: 省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしようという取組。</small> | | | |
| 139 | 気候変動に対応した適応策の推進 | | | | |
| | ・地球環境保全貢献事業 《環境政策課》 | 気候変動に対応した適応策の認知度(%) | 21.9 (H30実績) | 28.4 | 47.9 |
| ⑥ エネルギー政策の推進 | | | | | |
| 140 | 日本一の太陽光発電導入をはじめ多彩な再生可能エネルギーの導入 (2022年度までに再生可能エネルギーによる電力自給率を15.0%に引き上げる。(2017年現在12.9%)) | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | 再エネによる電力自給率(%) | 14.0 (H30実績) | 14.5 | 15.4 |
| 141 | 木質バイオマスなど多彩な再生可能エネルギー導入促進 | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | 再エネ導入容量(MWh) | 698,808 (H30実績) | 725,000 | 770,000 |
| 142 | (株)浜松新電力の事業拡大による浜松版シュタットベルケ※の構築 | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | 総合エネルギー事業の構築 | 可能性検討 (H30実績) | 一般家庭 への電力 供給 | 新たなサー ビス事業の 一部実施 |
| | | <small>※シュタットベルケ: 電力共有やエネルギーサービスだけでなく、地域が抱える課題解決サービス等を提供する「生活総合サービス企業」。</small> | | | |
| 143 | LED化による省エネルギーの推進 | | | | |
| | ・地球環境保全貢献事業 《環境政策課》 | 市有施設における旧型蛍光灯 (年間点灯時間2,000時間以上) のLED化率(%) | (R1新規事業) | 4.3 | 52.2 |
| | ・公園施設改良事業(都市公園LED化 事業)《公園管理事務所》 | 指定管理14公園の照明灯 LED化率(%) | 14.3 (H30実績) | 35 | 100 |
| | ・公園整備事業 《公園課》 | 公園整備における照明のLED 化率(%) | (R1新規事業) | 100 | 100 |
| | ・道路照明LED化更新事業 《道路企画課》 | 道路照明LED化更新率(%) | 34 (H30実績) | 80 | 90 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「4 きれいな浜松をいつまでも」

| ○テーマ | | | | | |
|--|---------------------------------|-------------------------------|-----------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑦ スマートシティの推進 | | | | | |
| 144 | エネルギー効率の良い優れたまち「浜松版スマートタウン」の誘導 | | | | |
| | ・土地利用適正化事業 ≪土地政策課≫ | 浜松版スマートタウン誘導件数 (件) | 3 (H30実績) | 3 | 3 |
| 145 | 市域をフィールドにした官民連携によるスマートプロジェクトの推進 | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 ≪エネルギー政策課≫ | スマートシティプロジェクトの実装 件数(累計)(件) | 0 (H30実績) | 1 | <u>2</u> |
| 146 | 浜松版バーチャルパワープラント※の実現 | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 ≪エネルギー政策課≫ | 浜松市マイクログリッド事業の進 捗状況 | 設備導入 (H30実績) | 実証 | 実装 |
| ※バーチャルパワープラント:「仮想発電所」とも呼ばれ、多数の小規模な発電所や、電力の需要制御システムを一つの発電所のようにまとめて制御すること。 | | | | | |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「5 安全・安心で強靱な日本—暮らしやすいまち」

| ○テーマ | | | | | |
|-------------------------------|---|---|--------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ① 地域の活力・魅力をはぐむみちづくりの推進 | | | | | |
| 147 | 三遠南信自動車道の建設に合わせた幹線道路の整備 | | | | |
| | ・三遠南信自動車道関連整備事業 《道路企画課》 | 現道改良区間 整備率(%) | 10 (H30実績) | 18 | 50 |
| | | H30: 用地補償、橋梁詳細設計、橋梁工、道路工、R1: 用地補償、橋梁工、道路工、R2~4橋梁工、道路工 | | | |
| 148 | 地域要望事業の着実な推進 | | | | |
| | ・交通安全施設等整備・修繕事業 ・市道整備事業 ・国県道整備事業 ・道路維持修繕事業 ・道路防災事業 ・河川改良事業 ・河川維持修繕事業 《道路企画課、道路保全課、河川課》 | 中規模要望(高判定)の残件数(件) ※平成30年度末時点における 累積未実施分 | 530 (H30末時点) | 335 | 46 |
| ② 拠点ネットワーク型都市構造の形成 | | | | | |
| 149 | 適性な都市機能の誘導を図る都市計画マスタープランの見直し | | | | |
| | ・都市計画策定事業 《都市計画課》 | 新・都市計画マスタープランの策定(%) | 75 (H30実績) | 90 | 100 |
| | | H30: 全体構想骨子検討、R1: 地域別構想・推進策検討、R2: 策定公表予定 | | | |
| 150 | 市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 | | | | |
| | ・スマートインターチェンジ関連整備事業 ・国県道整備事業 ・市道整備事業 ・都市計画道路整備事業 《道路企画課》 | 対象路線 整備率(%) | 55 (H30実績) | 55 | 75 |
| | | R1~4: 用地、物件補償、道路改良工 | | | |
| 151 | 拠点間の連携に資する幹線道路の整備 | | | | |
| | ・国県道整備事業 ・市道整備事業 《道路企画課》 | 対象路線 整備率(%) | 0 (H30実績) | 0 | 30 |
| | | R1~4: 用地、物件補償、道路改良工 | | | |
| 152 | 拠点間を結ぶ公共交通の確保 | | | | |
| | ・公共交通推進事業 《交通政策課》 | 主要な駅・バス停の利用者(千人) | 約27,575 (H27実績) | 約27,200 | 約27,200 |
| 153 | IT等を活用した新たな交通システムの導入 | | | | |
| | ・交通計画推進事業 《交通政策課》 | IT等を活用とした地域バスの実証運行(地域) | 1 (H30実績) | 1 | 2 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「5 安全・安心で強靱な日本—暮らしやすいまち」

| ○テーマ | | | | | |
|-------------------------------|---|--|------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ③ 道路・河川・橋りょう施設の適切な維持管理 | | | | | |
| 154 | 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化と長寿命化の推進 | | | | |
| | ・対象事業 《担当課》 | 浜松市公共施設等総合管理 計画におけるハコモノ資産充足 率(%)※ | 68.3 (H29実績) | 70 | 76 |
| | ・アセットマネジメント推進事業 《アセットマネジメント推進課》 | 浜松市公共施設等総合管理 計画におけるインフラ資産充足 率(%)※ | 70.7 (H29実績) | 60 | 66 |
| | ※充足率＝「改修・更新の投資実績額(1年当たり)」/「将来の改修・更新 経費試算値(1年当たり)」 | | | | |
| 155 | 道路・橋りょうの適切な維持管理(長寿命化の推進) | | | | |
| | ・道路施設長寿命化推進事業 《道路保全課》 | 法定点検の結果、判定区分Ⅲ 以上の道路施設の修繕率(%) ※H26～H30点検分 | 60 (H30実績) | 70 | 90 |
| 156 | 河川の適切な維持管理(河川維持管理計画の策定) | | | | |
| | ・河川管理対策事業 《河川課》 | 河川管理延長に対する河川点 検巡視の実施延長割合(%) | 20 (H30実績) | 41 | 100 |
| 157 | 交通事故ワースト1からの脱出(人身交通事故件数をオール浜松で2020年末までに6,000件以下とする。) | | | | |
| | ・交通安全推進事業 《道路企画課》 | 人身交通事故発生件数(件) | 7,570 (H30実績) | 6,000 | 6,000 |
| ④ 自然災害に強い強靱な浜松づくりの推進 | | | | | |
| 158 | 防潮堤を2019年度の完成に向け整備 | | | | |
| | ・防災計画等整備事業 《危機管理課》 | 防潮堤整備(17.5km)の進捗 率(%) 整備完了時期: R1末 | 59 (H30実績) | 100 | — |
| 159 | 新たな災害情報伝達手段を2021年4月の運用開始に向け整備 | | | | |
| | ・防災施設・資機材管理事業 《危機管理課》 | 防災無線を含めた災害情報伝 達手段の整備 整備完了時期: R4末 | 実施設計 (H30実績) | 通信システム 工事 | 既存同報無 線設備撤去 |
| 160 | 防災教育の充実 | | | | |
| | ・学校安全事業 《健康安全課》 | 防災ノート活用率(%) | 100 (H30実績) | 100 | 100 |
| | ・防災学習施設管理運営事業 《危機管理課》 | 年間の来館客数(人) | 5,354 (H30実績) | 12,000 | 12,000 |
| 161 | 重要道路の橋りょうの耐震化対策の推進(2022年度までに重要道路の新たな橋りょう(57橋)の耐震化率を33%とする。) | | | | |
| | ・橋りょう耐震補強事業 《道路保全課》 | 緊急輸送路を跨ぐ橋長15m以 上の橋梁の耐震化率(%) | (R1新規事業) | 7 | 33 |
| 162 | 無電柱化推進計画の策定 | | | | |
| | ・無電柱化推進事業 《道路保全課》 | 無電柱化推進率(%) ※延長割合 | (R1新規事業) | 0 | 20 |
| 163 | 浸水被害に対する総合的な対策の推進 | | | | |
| | ・河川改良事業 《河川課》 | 高塚川流域浸水対策アクション プランに基づく床上浸水戸数の 解消割合(%) | 0% (H30実績) | 0 | 50 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「5 安全・安心で強靱な日本—暮らしやすいまち」

| ○テーマ | | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | | | | |
| | ・対象事業 《担当課》 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| 164 | 「浜松版グリーンレジリエンス※」による天竜美林の多面的機能の維持・拡大 | | | | |
| | ・森林管理事業 《林業振興課》 | 年間間伐実施面積(ha) | R2.1月頃 (H30実績) | 2,000 | 2,000 |
| ※グリーンレジリエンス:森林の持つ水資源の確保、山地災害防止、生態系保全、CO2の吸収等の多面的機能と、木材を利用した新産業創出、産業振興を同時に進め、地方創生を実現する事業や活動。 | | | | | |
| 165 | エネルギー面で災害時の市民生活を支える仕組みの整備促進 | | | | |
| | ・スマートシティ推進事業 《エネルギー政策課》 | エネルギー(電力)自給率(%) | 14.9 (H30実績) | 15.4 | 16.3 |
| 166 | 建築物の耐震化の促進(2022年度までに建築物の耐震化率を95%とする。) | | | | |
| | ・地震対策推進事業 《建築行政課》 | 住宅の耐震化率(%) | 89 (H30実績) | 91 | 95(R2) |
| ※耐震改修促進計画における最終年度(R2)目標値:95% | | | | | |
| ⑤ 公園施設など憩いの場の整備 | | | | | |
| 167 | フラワーパークの開園50周年(2020年)に向けた魅力の創出 | | | | |
| | ・館山寺総合公園運営事業 《緑政課》 | フラワーパークの入園者数(人) | 432,455 (H30実績) | 490,000 | 520,000 |
| 168 | 動物園のいのちのふれあいゾーンの整備 | | | | |
| | ・施設整備事業 《動物園》 | 汚水処理施設及びいのちのふれあいゾーンの整備 | 動物園再生計画 (H28実績) | ふれあいゾーン整備 | R2完了 |
| 169 | 都市の顔となる浜松城公演の整備や浜松城跡の発掘調査の推進 | | | | |
| | ・浜松城公園歴史ゾーン整備事業 《公園課》 | 浜松城公園歴史ゾーン整備の進捗状況 | — | 樹木伐採 | 遺構解説サインの充実 |
| | ・浜松城公園整備事業(鹿谷地区) 《公園課》 | 整備率(%) | (R1新規事業) | 25 | 67 |
| | ・浜松城公園長期整備構想推進事業 《緑政課》 | 浜松城跡(元城小跡地)の発掘調査の進捗率(%) | (R1新規事業) | 25 | 100 |
| | ・埋蔵文化財調査事業 《文化財課》 | R1:遺構残存状況の確認、R2:遺構範囲確認等の詳細調査、R3:確認された遺構の掘削調査、R4:掘削調査及び補足調査 | | | |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「5 安全・安心で強靱な日本—暮らしやすいまち」

| ○テーマ | | | | | |
|---------------------------|--|--|-----------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑥ 迅速な消防・救急体制の整備 | | | | | |
| 170 | 消防ヘリコプターの運航体制及び安全管理体制の強化 | | | | |
| | ・消防航空隊運営事業 《警防課》 | 安全運航体制の強化【操縦士計器飛行証明※取得】(人) | (R1新規事業) | 0 | 1 |
| | | ※計器飛行証明:航空従事者国家資格技能証明で、航空機の位置及び針路の測定を計器のみに依存して飛行を行うことができる国家資格。 | | | |
| 171 | 高所監視カメラの増設による情報収集体制の強化 | | | | |
| | ・消防情報通信ネットワーク事業 《情報指令課》 | 情報収集体制強化率(%) | (R1新規事業) | 100 | — |
| | | R1:高所監視カメラの更新及び新規設置 | | | |
| ⑦ 生活を支える上下水道の維持・提供 | | | | | |
| 172 | 巨大地震に備えた上下水道の期間管路耐震適合率の向上及びマンホールトイレの整備 (2022年度までに基幹管路耐震適合率を上水道81%、下水道89%とする。) | | | | |
| | ・管路耐震化事業 《水道工事課》 | 基幹管路耐震適合率(%) | 70.1 (H30実績) | 73 | 81 |
| | ・地震対策事業 《下水道工事課》 | 基幹管渠の耐震化率(%) | 88.3 (H30実績) | 88.7 | 89.4 |
| | ・防災施設・資機材管理事業 《危機管理課》 | マンホールトイレ整備箇所数(箇所) | (R1新規事業) | 5 | 20 |
| | | 整備完了時期:R4末 | | | |
| 173 | 都市部における頻発する大雨による床上浸水軽減のための雨水調整池や排水ポンプなどの整備 | | | | |
| | ・浸水対策事業 《下水道工事課》 | 都市部における雨水調整池や排水ポンプ等整備率(%) | 72 (H30実績) | 85 | 100 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり」

| ○テーマ | | | | | |
|---|--|------------------------------------|------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ①「音楽の都・浜松」のさらなる飛躍 | | | | | |
| 174 | 次代の音楽文化を担う人材育成拠点「(仮称)市民音楽ホール」を2020年度までに整備 | | | | |
| | ・文化施設管理事業 《創造都市・文化振興課》 | 整備率(%) | 0 (H30実績) | 5 | 100 |
| H30: 基本設計・実施設計、R1～2: 建設工事 | | | | | |
| 175 | 世界の創造都市と連携した響きの創造プロジェクト(2020文化プログラム)の推進(再掲) | | | | |
| | ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 | イベント参加者数(人) | 1,593 (H30実績) | 5,000 | — |
| 176 | 浜松版アーツカウンシル※の推進と市民の創造的活動を支援する新たな伴走型助成制度の創設 | | | | |
| | ・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》 | 浜松市創造都市推進事業補助金採択件数(件) | (R1新規事業) | 22 | 22 |
| ※アーツカウンシル: 市民が主体となって文化活動の活性化を図り、文化芸術がもたらす効果をまちづくり、観光振興、教育、福祉等に波及させ、文化活動の経済的自立、地域課題解決に向けた活動を行う組織。 | | | | | |
| 177 | アクトシティ浜松の計画的な改修整備に向けた準備 | | | | |
| | ・文化施設管理事業 《創造都市・文化振興課》 | アクトシティ浜松改修計画策定及び改修整備 | — | 計画策定 | 改修整備 |
| 178 | 国際ピアノコンクールや吹奏楽大会の実施とやらフェスなど市民主体の音楽イベントの支援 | | | | |
| | ・音楽文化発信・交流事業 ・市民音楽文化振興事業 ・芸術文化人材育成事業 《創造都市・文化振興課》 | 国際的音楽イベント等の開催日数(日) | 47 (H29実績) | 71 | 74 |
| | | 音楽イベントに参加する市民団体等の数(団体) | 1,281 (H30実績) | 1,510 | 1,540 |
| 179 | 環境の変化に対応した新たな文化振興ビジョンの策定 | | | | |
| | ・文化推進運営経費 《創造都市・文化振興課》 | 新たな文化振興ビジョンの策定 | — | ビジョン策定 | — |
| ② 多文化共生の世界的モデル都市の推進 | | | | | |
| 180 | インターカルチュラル・シティ※をはじめとした国内外の連携を通じた多文化共生の推進 | | | | |
| | ・多文化共生推進事業 《国際課》 | 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりの市民満足度(%) | 10 (H30実績) | 15 | 20 |
| ※インターカルチュラルシティ: 欧州協議会が2008年から進めている「文化的多様性を脅威ではなくむしろ好機と捉え、都市の活力や革新、創造、成長の源泉とする都市政策」に賛同する欧州を中心としたネットワークに参加する都市。 | | | | | |
| 181 | 国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」の発信 | | | | |
| | ・国際交流連携推進事業 《国際課》 | 国際会議参加数(回) | 2 (H30実績) | 2 | 2 |
| 182 | 国の制度改正等を踏まえた多文化共生の推進 | | | | |
| | ・多文化共生推進事業 《国際課》 | 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりの市民満足度(%) | 10 (H30実績) | 15 | 20 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり」

| ○テーマ | | | | | |
|----------------------------|---------------------------------------|---|-------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ③ 生涯学習の充実 | | | | | |
| 183 | 浜松科学館事業の充実(2019年7月リニューアルオープン) | | | | |
| | ・生涯学習施設運営事業 《創造都市・文化振興課》 | 浜松科学館の来館者数(人) | 休館 (H30実績) | 187,500 | 265,000 |
| 184 | 浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会の充実 | | | | |
| | ・美術館展覧会開催事業 ・秋野不矩美術館展覧会事業 《美術館》 | 収蔵品展観覧者数(人) | 13,174 (H30実績) | 9,000 | 12,000 |
| ④ 市民協働・地域コミュニティの推進 | | | | | |
| 185 | 地域コミュニティとの協働の推進 | | | | |
| | ・市民協働推進事業 《市民協働・地域政策課》 | 市と多様な主体との協働件数 (件) | 156 (H29実績) | 160 | 165 |
| 186 | 地域コミュニティの活動支援 | | | | |
| | ・自治会等コミュニティ振興事業 《市民協働・地域政策課》 | 地域組織による協働センター等の 管理委託施設数(累計) (件) | 2 (H30実績) | 3 | 8 |
| 187 | 協働センターの機能拡充 | | | | |
| | ・自治会等コミュニティ振興事業 《市民協働・地域政策課》 | | | | |
| ⑤ 地域特性を活かしたまちづくりの推進 | | | | | |
| 188 | 史跡整備を活かしたまちづくりの推進 | | | | |
| | ・文化財活用地域連携事業 《文化財課》 | 各区協議会、まちづくり協議会 等地域団体との延べ会合数 (件) | 2(件/年) (H30実績) | 5 | 12 |
| 189 | 文化財保存活用地域計画の策定 | | | | |
| | ・文化財保護継承事業 《文化財課》 | 浜松地域遺産推薦受理件数 (累計)(件) | 242 (H30実績) | 260 | 320 |
| 190 | 無形民俗文化財の次世代継承 | | | | |
| | ・文化財活用地域連携事業 《文化財課》 | 無形民俗文化財保護団体連 絡会が芸能、祭礼等を伝承す る次世代の延べ人数(人/年) | (R1新規事業) | 50 | 200 |
| 191 | 地域課題の解決や地域の特性を活かした取組の支援(地域力向上事業) | | | | |
| | ・地域力向上事業 《市民協働・地域政策課、各区区振 興課》 | 地域力向上事業の実施件数 (件) | 121 (H30実績) | 128 | 128 |
| 192 | 中山間地域のまちづくりや移住の支援 | | | | |
| | ・中山間地域まちづくり事業 《市民協働・地域政策課》 | 中山間地域まちづくり事業採択 事業数(累計)(事業) | 17 (H30実績) | 19 | 22 |
| | ・居住促進事業 《市民協働・地域政策課》 | 市の事業を活用した中山間地 域への年間移住者数(人) | 27 (H30実績) | 30 | 33 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり」

| ○テーマ | | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑥ ユニバーサルデザイン都市の推進 | | | | | |
| 193 | 必要な情報へのアクセスが保証される環境づくり | | | | |
| | ・ユニバーサルデザイン推進事業 《UD・男女共同参画課》 | 音声文字化アプリケーションの利用実績(件) | (R1新規事業) | 20 | 30 |
| 194 | 多様性の理解や思いやりの心の醸成 | | | | |
| | ・ユニバーサルデザイン推進事業 《UD・男女共同参画課》 | UD市民リーダー養成に伴う講座受講者数(人) | (R1新規事業) | 20 | 20 |
| 195 | JR弁天島駅、遠鉄八幡駅など主要駅のバリアフリー化の推進 | | | | |
| | ・公共交通推進事業 《交通政策課》 | JR弁天島駅、遠鉄八幡駅 バリアフリー化整備率(%) | (R1新規事業) | 10 | 100 |
| | | 【JR弁天島駅】R1:調査、R2:詳細設計、R3~4:整備工事 【遠鉄八幡駅】R1:詳細設計、R2~3:整備工事 | | | |
| | ・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》 | JR弁天島駅(国道301号)UD 化整備率(%) | (R1新規事業) | 5 | 100 |
| | | R1: 詳細設計、R2~4:UD化工事 | | | |
| ⑦ 「ビーチ・マリンスポーツの聖地」の確立 | | | | | |
| 196 | ビーチ・マリンスポーツ施設の整備(2021年度までに江之島ビーチコートを整備) | | | | |
| | ・ビーチスポーツ施設整備事業 《公園管理事務所、公園課》 ・ビーチ・マリンスポーツ推進事業 《スポーツ振興課》 | ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ビーチラグビー等のビーチスポーツコートの整備 | (R1新規事業) | サブコート 完成 | メインコート等完成に伴う江之島地区管理 |
| 197 | ビーチ・マリンスポーツ大会の誘致等の推進 | | | | |
| | ・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》 | ビーチ・マリンスポーツの東海大会以上の大会開催数(件) | 7 (H30実績) | 7 | 8 |
| 198 | 「ビーチ・マリンスポーツ推進協議会」を核とした官民連携事業の推進 | | | | |
| | ・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》 | 浜松市の魅力度(位) | 55 (H30実績) | 42 | 36 |
| ⑧ 大型スポーツイベント(ラグビーW杯、東京オリパラ)の支援 | | | | | |
| 199 | 大規模スポーツ大会、スポーツイベント、合宿誘致の推進(再掲) | | | | |
| | ・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》 | 事前合宿、スポーツイベント等誘致数(件) | 10 (H30実績) | 10 | 11 |
| 200 | ラグビーW杯の事前合宿の受入 | | | | |
| | ・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》 | 欧米豪からの外国人宿泊者客数(千人) | 33 (H30実績) | 36 | — |
| | | ※R1年度事業終了 | | | |
| 201 | 東京オリパラにおけるブラジルホストタウンの推進 | | | | |
| | ・ブラジルホストタウン交流事業 《スポーツ振興課》 | ブラジル選手団との交流人数(人) | 1,658 (H30実績概算) | 1,700 | — |
| | | ※R1年度事業終了 | | | |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり」

| ○テーマ | | | | | |
|----------------------|--|-------------------------------|-----|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | | | | |
| | ・対象事業 《担当課》 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ⑨ 大型スポーツ施設の整備 | | | | | |
| 202 | 野球場を有する遠州灘海浜公園(篠原地区)整備に向けた静岡県との連携強化 | | | | |
| | ・遠州灘海浜公園篠原地区東関連事業 《公園課》 ・スポーツ施設運営事業 《スポーツ振興課》 | 新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設整備等に向けた進捗状況 | — | 県協議 (基本計画) | 県協議 (基本設計) |
| 203 | 四ツ池公園スポーツ施設再整備の検討 | | | | |
| | ・スポーツ施設運営事業 《スポーツ振興課》 | 四ツ池公園運動施設再整備 | — | 調査研究 | 検討 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「7 持続可能な都市経営の推進」

| ○テーマ | | | | | |
|---|--|-----------------------------------|------------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ① 未来のための行政区再編の実現 | | | | | |
| 204 | 行政区再編の実施 ・区制検討事業 <<企画課>> | | | | |
| 205 | 地域委員会の創設 ・自治会等コミュニティ振興事業 <<市民協働・地域政策課>> | | | | |
| ② 市民生活を支える行財政改革の推進 | | | | | |
| 206 持続可能な行財政運営(2022年度末までに総市債残高を4,558億円以下、市民一人当たり市債残高を577千円以下とする。) | | | | | |
| | ・財政状況公表事業 <<財政課>> | 市民一人あたりの市債残高(千円) | 580 (H30見込) | 582以下 | 577以下 |
| | | 総市債残高(億円) | 4,661 (H30見込) | 4,653以下 | 4,558以下 |
| 207 | 機動性を確保するための業務改善の推進 ・経営改革推進事業 <<政策法務課>> | 事業の廃止及び見直しの実施 | (R1新規事業) | 全事業 見直しの 実施 | 継続 見直しの 実施 |
| 208 | 内部統制制度※の構築と市民への公表 ・経営改革推進事業 <<政策法務課>> | 内部統制に係る推進体制等の整備 | (R1新規事業) | 整備 | 運用 |
| ※地方公共団体における内部統制:地方自治法等の一部を改正する法律(平成29年法律第54号)により、住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう、行政サービスの提供等の事務を執行する主体である長自らが、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じることで、事務の適正な執行を確保すること。 | | | | | |
| 209 | 民間事業者等の保有する経営資源の積極的な活用 ・経営改革推進事業 <<政策法務課>> | 庁内・外への民間活力の導入に関する制度周知及び啓発の実施回数(回) | 3 (H30実績) | 3 | 3 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略「7 持続可能な都市経営の推進」

| ○テーマ | | | | | |
|---|---|--|-----------------|---------------------|---------------------|
| No | 戦略項目 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| ③ ファシリティマネジメントの推進 | | | | | |
| 210 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化と長寿命化の推進(再掲) | | | | | |
| | ・対象事業 《担当課》 | 指標項目(単位) | 基準値 | R1 (2019) 計画値 | R4 (2022) 目標値 |
| | ・アセットマネジメント推進事業 《アセットマネジメント推進課》 | 浜松市公共施設等総合管理計画におけるハコモノ資産充足率(%)※ | 68.3 (H29実績) | 70 | 76 |
| | | 浜松市公共施設等総合管理計画におけるインフラ資産充足率(%)※ | 70.7 (H29実績) | 60 | 66 |
| | | ※充足率=「改修・更新の投資実績額(1年当たり)」/「将来の改修・更新経費試算値(1年当たり)」 | | | |
| 211 PFIや指定管理者制度等の官民連携の積極的な導入と適正な制度運用 | | | | | |
| | ・アセットマネジメント推進事業 《アセットマネジメント推進課》 | 浜松市公共施設等総合管理計画による官民連携手法の導入・活用 | 制度運用 | 制度運用 | 制度運用 |
| 212 遊休資産の活用及び借地の解消 | | | | | |
| | ・公有財産維持管理事業 ・借地解消事業 《アセットマネジメント推進課》 | 遊休財産の売却額(億円) | 4.6 (H30実績) | 3 | 3 |
| | | 借地料の削減額(億円) | 0.39 (H30実績) | 0.1 | 0.1 |
| ④ スマート自治体の推進 | | | | | |
| 213 AI等先進技術を活用した市民サービスの向上と業務の効率化の推進 | | | | | |
| | ・ICT戦略推進事業 《情報政策課》 | AI・RPA等先進技術導入件数(件) | (R1新規事業) | 10 | 10 |
| 214 オープンデータの利活用推進 | | | | | |
| | ・市政広報事業 《広報広報課》 | オープンデータ提供件数(件) | 256 (H30実績) | 260 | 290 |
| 215 マイナンバーカードの普及促進 | | | | | |
| | ・戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等事業 《市民生活課》 ・経営改革推進事業 《政策法務課》 | マイナンバーカード普及率(%) | 10.2 (H30実績) | 12 | 23 |
| ⑤ 多様な地域経営の推進 | | | | | |
| 216 新・三遠南信地域連携ビジョンの推進 | | | | | |
| | ・広域行政推進事業 《企画課》 | 三遠南信地域連携ビジョン重点プロジェクトの実施件数(件) | 14 (H30実績) | 28 | 28 |
| 217 遠州地域の各市町との連携による共通課題の解決 | | | | | |
| | ・広域行政推進事業 《企画課》 | 遠州広域行政推進会議での調査・研究件数(累計)(件) | 7 (H30実績) | 9 | 15 |
| 218 「しずおか型特別自治市」の推進 | | | | | |
| | ・大都市制度調査研究事業 《企画課》 | 特別自治市の法制化に向けた国への働きかけ回数(累計)(回) | 11 (H30実績) | 13 | 19 |
| ⑥ 持続可能な開発目標(SDGs)の推進 | | | | | |
| 219 SDGsの戦略的な推進 | | | | | |
| | ・浜松市総合計画推進事業 《企画課》 | SDGs官民連携プラットフォーム参加団体(団体) | (R1新規事業) | 50 | 100 |

※表中、下線標記があるものは累計を示す。



浜松市
HAMAMATSU CITY

浜松市戦略計画 2019

編集・発行：浜松市企画調整部企画課

発行年月：令和元年5月

改訂版発行年月：令和元年7月

住所：〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

TEL 053-457-2241 FAX 050-3730-1867

E-mail：kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL：<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>